

平成18年度 市民企画事業補助金

成果報告書



八王子市

平成19年7月

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	審査委員会委員長講評	3
4	交付事業一覧	4
5	事業成果報告	5
(1)	里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり	6
(2)	市民参加型 援農活動による農業の活性化	8
(3)	八王子生涯学習ガイドブック・2007年版の作成・配布	10
(4)	地元産の木材を使う環境に優しい住まいづくり啓発事業	12
(5)	子育て学習会(リトルアブリコット)	14
(6)	第4回七夕交流会	16
(7)	団塊の世代～これからの輝ける10年のために～	18
(8)	軽度知的障害児の就労に向けたジョブトレーニング	20
(9)	『Myお手玉で お手玉遊び』	22
(10)	夢あるまちづくり	24
(11)	喫茶 Mulberry	26
(12)	君にとどけたい愛のコンサート(視覚障害者音楽家とともに)	28
(13)	「八王子の手話」ガイドブック	30
(14)	八王子子ども祭り	32
(15)	子育て支援と高齢者の生きがいづくり事業	34
(16)	フォーラム「障害者をつくるパフォーマンス・アーツの可能性と課題」	36
(17)	JOYCCOちびっこ倶楽部	38
(18)	八王子福祉ガイド ホームページ作成事業	40
(19)	「みなみ野シティのルーツ 宇津貫・片倉 谷戸のくらし」出版	42
(20)	地域社会の活性化を図る講演会、趣味の作品展	44
(21)	おわら風の盆 in 八王子	46
(22)	パソコン・インターネット市民講座	48
(23)	四季の植物誌～親子で学ぶ自然観察～	50
(24)	学校図書館支援事業	52
(25)	介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする	54
(26)	第2回八王子まちかど・まちなみコンテストの開催	56
(27)	『わくわく子ども発明塾』	58
(28)	長池こどもの居場所作りの会	60
(29)	学園都市八王子のおみやげを研究しよう!!	62
(30)	八王子アマチュア映像祭	64
(31)	COOL DESIGN CONTEST	66
(32)	NPO法人 子どもネット“八王子”子育て支援事業	68
(33)	安心・元気な子どもの居場所づくりプロジェクト	70
(34)	地域特産品の開発(桑を利用したお土産品として地域食品名産品)	72
6	成果報告会アンケート結果集約表	74
7	交付団体連絡先一覧	86

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市内で活動する団体が、地域の課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、その経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募方式により募集し、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業には、以下の2部門があります。

活動支援 部 門	<p>すでに公益的な活動に取り組んでいる、またはこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介するために要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。</p> <p>補助金額・・・ 補助対象事業費 ただし上限10万円（千円未満切り捨て） 補助回数・・・ 同一団体2回まで補助を受けることができます。</p>
事業実施 部 門	<p>市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や、将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。</p> <p>補助金額・・・ 補助対象事業費の1/2以内 ただし上限100万円（千円未満切り捨て） 2回目以降は補助対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、とします。 補助回数・・・ 同一の事業に対して3回まで補助を受けることができます。</p>

(3) 補助事業の採択

庁内審査会による予備審査、有識者・学生等で構成する「市民企画事業補助金審査委員会」による本審査を行い、その審査結果（補助対象事業の選考及び交付額の査定結果）をもとに決定します。

活動支援部門については、書類審査のみ行います。

事業実施部門については、予備審査で書類審査を行った後、本審査では、書類審査のほか、一般公開でのプレゼンテーションも審査の対象とします。

審査項目は下表のとおりです。

区 分	活動支援部門	事業実施部門
予備審査	公益性 期待度 補助金交付の必要性	政策合致性 計画性 社会貢献度 ニーズの高さ 八王子らしさ 補助金交付の必要性
本審査	公益性 期待度	計画性 社会貢献度 ニーズの高さ 創意工夫

本概要は18年度の概要であり、19年度以降は内容に変更があります。

19年度の内容は、市のホームページで確認できます。

市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

2 事業成果報告等の経過

(1) 公開プレゼンテーション

日 時 平成18年2月19日(日) 10:00~18:00

場 所 クリエイトホール 5階ホール

参加団体 22団体 35名



(2) 情報交換会

日 時 平成18年9月1日(金) 13:30~15:45

場 所 市役所 903・904 会議室

参加団体 22団体 35名



(3) 成果報告会

日 時 平成19年5月26日(土) 13:00~17:30

場 所 北野市民センター ホール

報告団体 32団体



(4) 事業成果のパネル展示

日 時 平成19年6月18日(月)~28日(木)

場 所 市役所 2階市民ロビー



3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会
委員長 渡戸 一郎

去る5月26日の午後、平成18年度市民企画事業補助金交付事業の成果報告会が北野市民センターのホールで開催された。運動会シーズンの快晴の日曜日にもかかわらず、32団体の成果報告には多くの市民が熱心に聞き入り、フロアからの質問も相次いだ。1団体5分という短い報告時間ではあったが、その時間を目一杯に使って成果を懸命に伝えようとする報告者の熱意も感じられ、4時間余りの報告会は、中だるみすることなく、あっという間に終了した。

当初私は、32団体すべての報告を聞くよりも、テーマごとに報告団体を数団体ずつ選び、報告時間を（たとえば報告20分、質疑10分というように）多めにとった方がよいのではないかと考えていたが、こうした懸念は無用だったようだ。この成果報告会は、やはりすべての団体がそれぞれの成果を公開の場で報告することに意義があると再認識させられた次第である。市民活動の事例研究会は、別途、形を工夫して開催すればよい。

さて、32報告すべてを聞いた所感を少しだけ述べておきたい。第一は、3年度にわたり継続してこの補助金を受けた団体が一定数あったが、金額の大きな補助を受けた団体では今後の資金調達をどうするのか、必ずしも明確ではなかった点である。市民活動はできるだけ多様な資金調達源を確保することが、安定した運営につながる。大口の補助金が確保できなくなったからと言って、すぐに事業規模を縮小するのではなく、今後の事業計画を安定したものにするための資金調達戦略を確立していくことが重要だろう。第二に、報告された事業は地域型とテーマ型に分けられるが、どちらも異世代をつなぐ活動が多かったという点である。近年、地域社会の空洞化が指摘されているが、主要な担い手が中高年層であっても、世代をつなぐ活動はこうした地域社会の空洞化を防ぐ大きな役割を果たすと期待される。若い世代が担う活動でも同様のことが期待されよう。さらに、こうした活動・事業のなかで、地域内で孤立する人や少数者との新たな結びつきも追求されることを、切に願う次第である。

最後に、この市民企画事業補助金制度は、従来の補助金体系の見直しから生まれた、「税の再配分」の新たな方式であるが、今後さらに見直しが必要になるのではないかとこの点である。今回の成果報告会もそうであるが、10月に行なわれる情報交換会も含めて、市役所の協働推進課がいつまでも実質的な事務局を担うことが望ましいのだろうか。私見では、むしろ市としての補助金を「基金」に組み替え、中間支援組織が「助成金」の形で再配分し、情報交換会や成果報告会も中間支援組織が開催・運営した方がよいのではないと思われる。「カイザルのものはカイザルへ」ではないが、「市民社会のものは市民社会のなかへ」という形が望ましい。



成果報告会における審査員講評の様子

4 交付事業一覧

(単位 円)

部門	事業名	団体名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり	睦っこ元気くらぶ	100,159	100,000
	市民参加型 援農活動による農業の活性化	すずしろ22	283,781	100,000
	八王子生涯学習ガイドブック・2007年版の作成・配布	八王子生涯学習コーディネーター会	93,406	93,000
	地元産の木材を使う環境に優しい住まいづくり啓発事業	八王子住まいづくり市民塾	99,082	99,000
	子育て学習会(リトルアブリコット)	リトルアブリコット	91,590	91,000
	第4回七夕交流会	南大沢音訳の会「こだま」	95,376	84,000
	団塊の世代～これからの輝ける10年のために～	学びサポート研究会「さくらの森」	102,315	100,000
	軽度知的障害児の就労に向けたジョブトレーニング	特定非営利活動法人 花水木	104,543	100,000
	『Myお手玉で お手玉遊び』	八王子お手玉の会	176,055	100,000
	夢あるまちづくり	夢あるまちづくり協議会	111,180	100,000
喫茶Mulberry	クッキング ビィ	224,267	100,000	
計			1,481,754	1,067,000
事業実施部門	君にとどけたい愛のコンサート(視覚障害者音楽家とともに)	八王子フィルハーモニー合唱団	2,443,415	1,000,000
	「八王子の手話」ガイドブック	八王子市聴覚障害者協会	216,655	108,000
	八王子子ども祭り	八王子子ども祭り実行委員会	1,429,948	600,000
	子育て支援と高齢者の生きがいづくり事業	きよびー	5,461,614	1,000,000
	フォーラム「障害者をつくるパフォーミング・アーツの可能性と課題」	AIR-空-パフォーミング・アーツ研究会	1,000,677	500,000
	JOYCCOちびっこ倶楽部	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場	708,483	354,000
	八王子福祉ガイド ホームページ作成事業	わかこま自立生活情報室	130,300	65,000
	「みなみ野シティのルーツ 宇津貫・片倉 谷戸のくらし」出版	宇津貫みどりの会	2,200,946	1,000,000
	地域社会の活性化を図る講演会、趣味の作品展	特定非営利活動法人 めじろむつみクラブ	462,661	225,000
	おわら風の盆 in 八王子	八王子「おわら風の盆」の会	3,634,132	1,000,000
	パソコン・インターネット市民講座	情報ボランティアの会(八王子)	131,117	65,000
	四季の植物誌～親子で学ぶ自然観察～	四季の植物誌の会	308,089	150,000
	学校図書館支援事業	八王子に学校図書館を育てる会	337,030	96,000
	介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	1,599,523	500,000
	第2回八王子まちかど・まちなみコンテストの開催	特定非営利活動法人 らいふ舎	1,804,224	562,000
	『わくわく子ども発明塾』	特定非営利活動法人 発明協会	551,766	160,000
	長池こどもの居場所作りの会	長池こどもの居場所作りの会	349,595	116,000
	学園都市八王子のおみやげを研究しよう!!	八王子学生郷土さがし隊!!	1,874,360	320,000
	八王子アマチュア映像祭	八王子アマチュア映像協会	195,474	64,000
	COOL DESIGN CONTEST	八王子商店研究会	954,976	184,000
	NPO法人 子どもネット“八王子”子育て支援事業	特定非営利活動法人 子どもネット“八王子”	385,033	128,000
	安心・元気な子どもの居場所づくりプロジェクト	八王子子どもの居場所づくりプロジェクト	620,848	160,000
	地域特産品の開発(桑を利用したお土産品として地域食品名産品)	特定非営利活動法人 地域生活文化研究所	922,516	300,000
計			27,723,382	8,657,000
合計			29,205,136	9,724,000

5 事業成果報告

(1) 里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり	6
(2) 市民参加型 援農活動による農業の活性化	8
(3) 八王子生涯学習ガイドブック・2007年版の作成・配布	10
(4) 地元産の木材を使う環境に優しい住まいづくり啓発事業	12
(5) 子育て学習会(リトルアプリコット)	14
(6) 第4回七夕交流会	16
(7) 団塊の世代～これからの輝ける10年のために～	18
(8) 軽度知的障害児の就労に向けたジョブトレーニング	20
(9) 『Myお手玉で お手玉遊び』	22
(10) 夢あるまちづくり	24
(11) 喫茶 Mulberry	26
(12) 君にとどけたい愛のコンサート(視覚障害者音楽家とともに)	28
(13) 「八王子の手話」ガイドブック	30
(14) 八王子子ども祭り	32
(15) 子育て支援と高齢者の生きがいづくり事業	34
(16) フォーラム「障害者をつくるパフォーミング・アーツの可能性と課題」	36
(17) JOYCCOちびっこ倶楽部	38
(18) 八王子福祉ガイド ホームページ作成事業	40
(19) 「みなみ野シティのルーツ 宇津貫・片倉 谷戸の暮らし」出版	42
(20) 地域社会の活性化を図る講演会、趣味の作品展	44
(21) おわら風の盆 in 八王子	46
(22) パソコン・インターネット市民講座	48
(23) 四季の植物誌～親子で学ぶ自然観察～	50
(24) 学校図書館支援事業	52
(25) 介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする	54
(26) 第2回八王子まちかど・まちなみコンテストの開催	56
(27) 『わくわく子ども発明塾』	58
(28) 長池こどもの居場所作りの会	60
(29) 学園都市八王子のおみやげを研究しよう!!	62
(30) 八王子アマチュア映像祭	64
(31) COOL DESIGN CONTEST	66
(32) NPO法人 子どもネット“八王子”子育て支援事業	68
(33) 安心・元気な子どもの居場所づくりプロジェクト	70
(34) 地域特産品の開発(桑を利用したお土産品として地域食品名産品)	72

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

事業名	里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり		
団体名	畦っこ元気くらぶ		
事業費	100,159円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 私たちの身近にある自然の豊かさを知らなければ失われていく事も気付くことは出来ません。いま、谷戸田や雑木林の荒廃が進み里山に棲息する動植物は絶滅の危機にさらされている。私たちの地域に残されている貴重な里山の回復と自然に親しめるフィールドづくりを進め、自然体験や環境学習を通して地域づくりを展開していく。
	内容 ふるさとの原風景である里山環境を回復させ、そのフィールドを利用して自然観察会や自然体験を行い、活動に参加する会員の募集を地域に周知する。 情報発信やフィールド周辺に掲示板を設置して地域に情報が伝わる方法を充実させていく。 子供と大人が交流を深められるイベントを通して地域、学校と協働、連携した活動を進める。

事業の実績	定例活動日は毎月第2日曜日に活動場所に集合して活動を行っている。 平成18年度活動実績の概要 4月8日(土)平成18年度活動計画会議 9名 4月9日(日)活動拠点に掲示板を3基設置する。9名 5月14日(日)溜池予定地の試し掘り作業 8名 6月、7月定例活動日は雨天のため中止 8月13日(日)休耕田、雑木林の草刈作業 7名 9月10日(日)休耕田、雑木林の草刈作業 7名 11月12日(日)休耕田の田起こし作業 6名 12月10日(日)雑木林の下草刈り、伐採作業 7名 1月21日(日)雑木林の下草刈り、伐採作業 9名 1月28日(日)雑木林の下草刈り、伐採作業 6名 2月11日(日)雑木林の下草刈り、伐採作業 7名 2月24日(土)イベント「冬の里山を体験しよう」参加者数：子供15名、大人23名、会員6名 3月11日(日)活動区域内の植物保護地に立ち入り禁止看板とロープ柵(400m)を設置。2名 3月24日(土)カタクリの盗掘パトロール、昨年同様に多数の盗掘跡を確認。
-------	--



休耕田を掘り下げて溜池づくり



冬の里山体験イベントの中で椎茸の植菌作業を体験

事業の成果・効果	<p>1. 平成18年度は活動拠点でイベント「冬の里山を体験しよう」を開催することが出来た。イベントは活動拠点周辺を利用して冬の里山を歩き自然観察と伐採したコナラに椎茸菌を植菌する体験作業や桜の木をスライスした材料で簡単な玩具（ブンブンごま）の製作を行なった。当日は水団（川口小学校PTAの方々）が調理で昼食を摂り、当会の活動目的やイベント案内を紹介して活動への参加を呼びかけた。実践活動では目標を達成することが出来たが、会員の増員には繋がらなかった。</p> <p>「冬の里山を体験しよう」のイベントには、小学校の親子38名が参加、川口中学校の副校長も途中から参加され、当初予定に入っていなかった川口中学校の「ふるさと学習室」を見学することが出来た。</p> <p>2. 活動では、人が入り込めないほどに荒廃した雑木林のササ刈りと伐採を実施した。手入れを実施した面積は600㎡程度に達した。また、溜池（25㎡ほど）も完成。平成19年には谷戸田で田植えを計画している。その準備作業として田起こしと水路整備にも着手した。田植えは500㎡ほどを予定している。</p> <p>3. 保全活動を続けた結果、動植物の回復が明らかに確認できるようになった。今年に入りヤマアカガエル、ヒキガエルの産卵が確認された。</p> <p>4. 今後の課題</p> <p>活動によって雑木林内や谷戸田には出入りが容易になり、貴重な植物が盗掘される事態が頻繁に発生している。その対策に立入り禁止のロープ柵（400m）や注意看板を設置したが歯止めにはなっていない。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	ほとんど同じ 2. 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	汗まみれ、泥まみれ、夏場は蚊やブヨに悩まされ悪戦苦闘の連続ではあったが、作業を通しての達成感と活動を進めることで本来の自然が蘇ってくる自然の力強さ、季節ごとに目で見られる様々な変化に魅了され活動に参加する会員が多い。活動内容はきつい作業であるが楽しみというキーワードが会員の心をついてくれている。活動を開始した当初から考えれば予想を越えた早さで周辺の自然回復が進んでいると実感できる。また手入れが進んだ部分では十数年ぶりに動植物の回復が顕著になり回復が進んできていることを実感できた。

今後の事業展開	<p>1. 活動拠点周辺の雑木林の手入れ区域を拡大する。</p> <p>2. 活動参加者、会員を増やすための広報活動の充実を図る。</p> <p>3. 谷戸田での田植え、稲刈り、収穫作業が地域、学校と連携して取り組み出来る仕組みづくり。</p> <p>4. 活動拠点での自然体験、環境学習などのイベント開催を定期的実施する。</p> <p>5. 回復した動植物の保護が地域で取り組み出来る活動の展開</p>
---------	---

事業名	市民参加型 援農活動による農業の活性化		
団体名	すずしろ22		
事業費	283,781円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 「労働力の不足傾向にある農家」と「可処分時間を持つ人材」とのコーディネート・マッチングをはかり地域農業の活性化をめざすとともに市民に農業参加の場を提供する。
	内容 人手を必要とする農家の要望を把握し農業を支援する意欲のある人材に紹介し農作業を実施する。活動は、『会員間相互扶助・有償ボランティア方式』により実施する。

事業の実績	<p>(1) 会員の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの作成 ・会報紙の各月発行 <p>(2) 有償ボランティア作業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家ニーズを市民会員に伝えるための「一斉同報システム」の導入 <p>(3) 収穫物謝礼方式による作業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝礼金の支払いが困難な場合への対応方式を考案 <p>(4) 地産地消活動の試行 農産物の委託直販</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の売上高拡大(営農規模拡張)に協力 <p>(5) 市民会員の技術力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 研修会 イベントの開催 <p>(6) 八王子市市民活動協議会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体との交流を通じて地域活性化に協力
-------	---



りんご袋かけのお手伝い



サツマイモ 収穫作業

事業の成果・効果	<p>(1) 会員の募集 ・農家と市民会員 あわせ 69名の方に登録いただきました。</p> <p>(2) 有償ボランティア作業の実施 ・目標時間：1500 時間にたいして 実績時間：1750 時間となりました。</p> <p>(3) 収穫物謝礼方式による作業の実施 ・今年度実績は 100 時間ほど。明年度 拡大計画へ。</p> <p>(4) 地産地消活動の試行 農産物の委託直販 ・金額的には25万円程度にとどまりましたが 明年度 積極拡大へ。</p> <p>(5) 市民会員の技術力向上 ・農耕技術獲得に若干の寄与ができたものと判断。</p> <p>(6) 八王子市市民活動協議会への参加 ・地域に「有償援農ボランティア団体：すずしろ22」の存在をPR</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有償援農ボランティアシステムが農家からも歓迎いただけたこと。 ・ 会報紙の各月発行による広報効果と会員間の求心力醸成。

今後の事業展開	<p>(1) 農家会員と市民会員のさらなる増員により 農業活性化への寄与度を拡大</p> <p>(2) 地産地消活動に積極的に参画</p> <p>(3) 事業化の検討</p>
---------	---

事業名	八王子生涯学習ガイドブック・2007年版の作成・配布		
団体名	八王子生涯学習コーディネーター会		
事業費	93,406円	補助金額	93,000円

事業の目的・内容	目的 「八王子生涯学習ガイドブック 2007」を当会員が常に携行し、生涯学習の啓蒙活動に効果的に活用するとともに、市内の関連施設・団体を中心に配布し、八王子の生涯学習活動の一層の活性化に寄与することを目的とする。また合わせて「ガイドブック」作成段階での現地調査や、完成後の当会員による直接配布活動を通じて、「八王子生涯学習コーディネーター会」の活動目的の周知をはかる。
	内容 八王子市内における生涯学習の活動状況全般について、「学習施設」「学習情報」「学習相談」「生涯学習関連イベント」「八王子市の生涯学習推進体制」「市民の生涯学習についてのよくある質問」などの各分野について情報を収集、編集し、『ガイドブック 2007年版』として作成、配布する。 A4版 100ページ・コピー版 250部

事業の実績	【作成の経過】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 18 年 4 月 補助金交付決定を受けて編集全体会議を開催し、具体計画策定の「編集委員会」を設置（編集委員 13 名および市生涯学習総務課主査がアドバイザーとして参加） ・平成 18 年 5 月～7 月 編集委員会で基本構成プランおよび施設・団体の現地調査プランを策定 ・平成 18 年 8 月～11 月 八王子市内を 4 地域に分け、会員による市内約 90 箇所の関連施設の現地聞き取り調査を展開（当時会員数 42 名、2 名 1 組で 2～4 箇所担当） ・平成 18 年 12 月 編集委員会で調査結果に基づき、最終構成プラン（全 88 ページ）を決定、あわせて原稿入力、製版印刷、製本等についての方針決定 ・平成 18 年 12 月～平成 19 年 2 月 会員による印刷原稿のパソコン入力、施設毎に地図の添付 ・平成 19 年 2 月～3 月 会員による製版印刷を、市中央公民館で延 9 回にわたって実施、続いて手づくり製本作業を、市民活動支援センター会議室で 2 回にわたり実施し、計 150 部作成、残り 100 部は会員自宅で製本。 ・3 月 28 日 市の関係部署に完成「ガイドブック」を提出するとともに配布活動に入る。
	【関連データ】 <ul style="list-style-type: none"> * 現地調査対象；市の施設、民間、都、国、大学、市民団体等約 90 施設・団体 * 掲載施設団体；72 施設・団体 * 作成部数 250 部 * 全 88 ページ * 製本；日本 GBC の「サーマ A バインド 50T」のり付け製本機を使用



事業の成果・効果	<p>< 成果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政、民間を問わず、国、都、市内の各大学など、八王子市内の生涯学習に関連する施設・団体を全体的に網羅した「ガイドブック」は初めてのことで、これまでは行政分野のみ、または施設ごとにつくられた個別のパンフレットの形で発行されている。 市民の立場から、市民の目線での利便性を重視した。各施設へのアクセス、地図の添付、利用時間帯、利用料金の目安など利用者の立場に立っての編集、内容を盛り込むことを試みた。 実際に当会の会員が各施設等に出向いて聞き取り調査を行い、市民感覚を重視した内容の掲載に配慮した。 <p>< 効果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> これから『団塊の世代』を地域が迎えるにあたって、多くの市民が生涯学習に取り組むきっかけに、この「ガイドブック」が役立つことが期待される。 < 例：市役所 5 階に特設の「団塊世代等地域参加支援デスク」での活用など > 会員による直接の聞き取り調査活動によって、当『生涯学習コーディネーター会』のパブリシティ効果は深められ、当会の活動に対する理解を深めることに大いに役立った。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 当初案では、市内 90 の生涯学習関連施設の掲載を計画していたが、 実地調査の結果、関連性の薄い施設や、先方の意向で掲載を見送った施設・団体もあり、結果 72 施設・団体の掲載となった。(100P 88P)
	その他、評価すべき点等	ガイドブックの制作および配布活動を通して、全会員が各段階にわたり全面的に参加し、特に実地聞き取り調査では、当会の活動目的について生涯学習関係者への理解浸透に、大きい成果があった。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> この『ガイドブック』をベースに、特に「団塊の世代」の地域活動への参加など、八王子における生涯学習活動の推進に活用する。 今回の作成を第 1 歩として、配布先をはじめとする各分野からの反応を今後の充実に向けて生かし、掲載内容の一層の充実と、組織改正等の状況変化にも応じた、「改訂版」の作成を数年後に計画する。
---------	--

事業名	地元産の木材を使う環境に優しい住まいづくり啓発事業		
団体名	八王子住まいづくり市民塾		
事業費	99,082円	補助金額	99,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>地球温暖化防止のため、炭酸ガス排出削減は待ったなしの全国的課題です。実際のところ、我が国の住宅寿命は極めて短いので環境負荷が大きい一方で、豊富な森林資源があるにもかかわらず、木材需要の80%が輸入品であり、このため森林の更新が進まず森の炭酸ガス吸収能力が低下していると言われています。市民が住宅についての常識を転換すれば生活の質を高めると同時に温暖化を抑制し、かつ美しい町並みが形成される等多くの成果が実現できます。</p>
	<p>内容</p> <p>私たちは市民の側から、住まいづくりの新しい常識を創り出すため、日本の住宅寿命が短い事実と原因について市民として学び、学んだことをお伝えします。市民や子ども達が地域の森、地元の木材と親しむ場をつくって森と木への関心を高めます。市民や市民団体、行政、企業の方達と力を合わせる場づくりに努力します。私たちはこれらの活動を荒廃が進んでいる市内の竹林整備を通して行います。</p>

事業の実績	4月	会報第3号を発行。第1回講演会実施。テーマは「多摩産の木材をたっぷり使ったいえをつくろう」で一般参加者は2名。竹林整備とタケノコご飯パーティー実施。障害を持つ子どもを含む子供団体を招待し多世代交流を行った。
	5月	新築住宅完成見学会実施。八王子市民活動協議会主催の「第4回お父さんお帰りなさいパーティー」のフォローアップイベントを当会が担当して実施した。会報4・5合併号発行
	6月	アクティブ市民塾で講義。この講義で会員1名増加。竹の仕込み終了した。
	7月	間取り設計教室実施。参加者5名。また、市民団体向けに竹細工の材料提供サービスを行なうことを決定。
	8月	第5回「お父さんお帰りなさいパーティー」のフォローアップイベントを当会が担当して実施。参加者1名が会員となった。セルフビルド支援事業を「家庭大工お助け隊」として、正式に実施することを決定。
	10月	お助け隊事業で2件の依頼があり対応した。子供対象の体験イベントに参加することになり実行委員会に参加した。会報6号発行
	11月	消費者展、いちょう祭り、わくわくおやじ祭りに参加し竹林への関心を喚起した。第2回講演会を実施。テーマは「地球温暖化待ったなし 太陽光発電 最新情報」
	12月	八王子市民活動協議会主催の地域デビュー講座の市民活動体験を受け入れ。会報7号発行
	1月	竹紙の原料として竹繊維生産テストに着手。結の会が竹紙壁紙を受注したので竹繊維の供給を行った。会報8号発行
	2月	現場に適した竹繊維生産の仕方を研究
	3月	市民活動入門講座で資源利用型コミュニティービジネスの観点から竹紙和紙を紹介した。



子どものタケノコ掘体験



手作りの竹の器で頂く薪炊きのタケノコご飯

事業の成果・効果	<ol style="list-style-type: none"> かつて竹は身近な存在でしたが、竹に触れるたり利用する機会が減少し竹林の荒廃が進み、竹林を含む里山の景観が失われつつあります。 平成 18 年度は竹林整備体験の機会を提供したり、講演やセミナーで里山整備の意義と竹資源の有効利用をPRすることができました。更に、いちょう祭りや「わくわくおやじ祭り」で親子に竹細工遊びを提供し、子供の体験学習に寄与することができました。長い目で見れば環境意識を高めることができたと考えています。このような活動により竹や竹林は市民の環境学習にとって適している事がわかりました。 竹林整備を地球温暖化防止につなげるには、竹製品の開発と生産が必要で、竹炭作りの取り組みが各地で行われていますが、私たちは竹紙に着目し生産の研究に取り組みました。その結果、プリミティブではありますが、竹繊維を生産し、紙漉を実施しているNPO法人結の会で竹紙の試作を行ってもらいました。その結果、使用に耐えうる和紙ができることがわかりました。 自分で住まいづくりに関わるセルフビルドは住まいづくりに関心を高める事につながります。私たちが注目していた分野でしたが、大工仕事が好きメンバーを中心に家庭大工お助け隊チームを作り、本年度は3件の家庭大工仕事を引き受けて実施しました。今後の木工教室主催への足がかりとなったと考えています。 外部に向けた活動の結果、6名の会員が入会し基盤が強化されました。太陽光発電に関する講演会は他の団体と共同で実施しましたが、お互いに学びあうことができました。将来性のある取り組み方法であるように思われました。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>収入は年会費と事業費はほぼ計画通りとなりました。 支出はパンフレットの作成を取りやめ、新規会員やボランティア受け入れのためフィールド活動に必要な道具を揃えた。また、竹から繊維を取り出す研究に着手したので計画外の水ポンプなどを購入しました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>八王子市市民活動支援センターや八王子市市民活動協議会の要請に対応しました。その結果、活動の間口が広がり、会員の増加にもつながりました。積極的に対応した事は自己評価できる点です。</p>

今後の事業展開	<p>平成 19 年度は活動分野の重点化を行います。方向性としては 竹紙の生産、竹林整備、家庭大工お助け隊、竹紙以外の竹の利用促進 の4分野を予定しています。このうち、平成 19 年度の市民企画事業補助金制度には、 の分野で応募しました。竹繊維を有料で提供できるような品質が伴う生産方法を研究する予定です。順調にいけば平成 20 年度はスモールビジネスをスタートさせる事ができます。</p>
---------	---

事業名	子育て学習会（リトルアプリコット）		
団体名	リトルアプリコット		
事業費	91,590円	補助金額	91,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>核家族化が進んでいる現代、子育てをしている母親がこの学習会を通し、食への関心、知識を高め、また、子育てのヒントを得て、心身共に健康的な家庭生活を営めるようにする。</p> <p>また、この場で出会えた母親同士の輪が広がり、閉塞感などを解消していく。</p>
	<p>内容</p> <p>月1回 みなみ野子ども家庭支援センターに於いて0～3才前後の子を持つ母親対象に学習会を開催。「食育・子育て」と2つのテーマで話し合う。</p>

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回 みなみ野子ども家庭支援センターに於ける学習会。 (参加者のべ人数148名)(アンケート実施) ・公式ホームページ開設(2006年4月) ・講演会「幸せになれる家族のコミュニケーション」 於：学園都市センター会議室 講師 佐藤創起氏 参加者18名 ・ニュースレター(月1回)発行 (クッキング、生活のヒント、ママたちの声など)
-------	--



事業の成果・効果	<p>子育て面では・・・</p> <p>グループで話し合う時間を設けているのだが、出席者の意見、現状を直に聞くことにより、抱えている悩み、不安が自分だけではないと感じることができ、安心感を生んでいる。</p> <p>また、母親同士の交流が生まれている様で、時間を作って集まっている話を耳にしている。</p> <p>食育の面では・・・</p> <p>講義を聴くことで「食生活を見直していきたい」という思いが生まれ、グループでの話し合いでは、他の母親からのアイデアをもらえる等、励みになっている。</p> <p>また、継続して参加している母親から「食事が変化し身体の変化を感じる」という声を頂き、食習慣を変えるという目的を達成していると感じている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>広告代を予算として計上したが、有料広告を利用しなかった為。</p>
	その他、評価すべき点等	

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・並木町の「ふれあいスペース」をできるだけ多くの母親に利用してもらえる様、広報活動をする。 ・出張学習会を検討。 ・月1回発行のニュースレターを1冊にまとめて、市内の公共施設に置くことができる様、活動をする。
---------	--

事業名	第4回七夕交流会		
団体名	南大沢音訳の会「こだま」		
事業費	95,376円	補助金額	84,000円

事業の目的・内容	目的 <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚に障害のある方・ボランティアの方・関連団体の方等と直接お会いし、コミュニケーションをとり合い、交流の輪を広げること。 ・ 視覚に障害のある方が外に出て、人と交流し、自立していける手助けとなる交流会にすること。 ・ 当会をより多くの人に知ってもらうこと。
	内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流会を視覚障害者の自立への手助けになるよう計画する。互いの自己紹介・歓談・歌・特技の披露などのプログラムを組み、自ら行動しようとする意欲が持てるよう細やかな配慮をする。 ・ 広報活動をより積極的に行い、当会の存在を多くの市民にアピールしていく。

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流会の案内を、市広報・市民活動通信やアサヒタウンズ等、数多くの(10数社)の情報誌に取り上げていただいたことにより、当会の活動や交流会への問い合わせが一般市民の方々からも多くあり、当会の存在を広くアピールできた。 ・ 視覚に障害のある方の参加が昨年と比べて多く、自分自身の特技を披露する方々もでてきて、会話も弾み以前にも増して和やかな交流会となった。 ・ 当会の“ミニ朗読会”は初めての試みだったが、発足8年目に恥じない朗読をと努力を重ねた。好評だった。会員の精進と質の向上がみられた。 ・ 助成金をいただいたことで、参加者への配慮(みやげ・テープ・写真など)ができ喜ばれた。 ・ 一般市民の方々の参加や、ボランティア活動を開始した人もでてきたことが、大きい成果だと思われる。 ・ 第4回七夕交流会は、平成18年7月2日(日)に八王子労政会館でおこなった。 (午後1時30分～15時30分) 参加人数は50名(内訳：障害者・一般29名、会員21名)
-------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 多方面への案内の成果 市からの補助金をいただいたことにより、市広報・市民活動通信を皮切りに、多摩ニュータウンタイムズ・アサヒタウンズ・ショッパー・会員地元の情報誌等、10社ほどの掲載が可能になった。その結果、会の活動について参加希望など、数多くの一般市民からの問い合わせもあった。特にアサヒタウンズへの掲載や、FM 多摩（ラジオ）の生出演の効果は大きく、当会を知ってもらう大きな力となった。 交流会 準備～当日～終了まで 4回目となる今回、助成金をいただいたことにより、資金面での活動が楽にできた。会員それぞれが交流会をいかに成功させるか、と心を砕き各自の担当を係で協力しながら精いっぱいやりとげた。ボランティアである当会は、時間のやりくりが厳しい人間の集まり。笑顔で閉めくることができたのが最大の収穫。 交流会後の反響 参加の視覚障害者の方・ボランティアの方・一般の方々から数多くの感謝の言葉をいただいた。電話であったり、お便りであったり、お会いしたりと手段は違うが、又、アサヒタウンズに今回の交流会についての投稿も。会員の喜びは大きく、団結が強まり、精進の気持ちが高まった。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 通信・連絡費と印刷コピー費は予算オーバーだった。
	その他、評価すべき点等	当会を知ってもらうことは、市からのバックアップや他誌への掲載、ラジオへの生出演等もあり、関心のある市民からの問い合わせが多くあった。当日は視覚障害者個人や参加者の特技の披露など、和やかな交流ができ、更に交流の輪が広がった。

今後の事業展開	<p>今回の目的（視覚障害者が、外に出て人と交流し自立していける手助けになる交流会とすること・当会をより多くの人に知ってもらうこと）は、かなり達成できたと確信している。交流会での初めての試み「ミニ朗読会」も好評、会員の質の向上もうかがえた。「来年も！」「来年はこれをやるから！」という多くの声に参加者からあり、次年度も今年度を土台に更に幅広い交流を旨ざしたいと考えている。</p>
---------	--

事業名	団塊の世代～これからの輝ける10年のために～		
団体名	学びサポート研究会“さくらの森”		
事業費	102,315円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>団塊の世代がこれからの人生を充実したものにす為如何に地域で活動することができるか。体験者からの話を通して見つける事ができる講座を開く。</p>
	<p>内容</p> <p>「キャリアを地域に活かそう」という基調講演を中心に他3人の講師がレクチャーをし、その後参加者と講師が一緒になり、4～5人のグループに別れて話し合いの時間をもちました。</p>

事業の実績	<p>9月9日(土)八王子クリエイイトホール第7会議室 13:30～16:30</p> <p>基調講演 「キャリアを地域に活かそう」狩野陽二</p> <p>レクチャー「学びのススメ」川島聖恵</p> <p>「地域社会にソフトランディング」黒川康弘</p> <p>「学校支援ボランティアとして」宍戸佳子</p> <p>交流会 講師と共に楽しいおしゃべりタイム</p>
-------	--



事業の成果・効果	<p>参加者は団塊の世代を中心に40才～60才の方々でしたが、講師の体験談を通して、それぞれがこれからの地域活動の場を見つける参考にしていきたいという感想や、活動をすでにしている人達からはいろいろな悩みなどの相談がありました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>参加者集めが上手に出来なかった。</p>

今後の事業展開	<p>団塊の世代が地域活動に積極的に参加できる様な多くの提案をしていく講座を開いていく。</p>
---------	--

事業名	軽度知的障害児の就労に向けたジョブトレーニング		
団体名	特定非営利活動法人 花水木		
事業費	104,543円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>どの様な人でも住み慣れた地域で、いつまでも暮らせる事が理想だと考えるが、この事業を通して、軽度知的障害者が、将来にわたって安心して生活が送れる為の一翼を担うためのサポートをする事を目的とする。</p>
	<p>内容</p> <p>軽度知的障害者は、外見からはなかなか理解されず、親も受け入れに苦しむ。その為就職出来たとしても、見た目から判断される能力とのギャップや固有の障害からのディスアビリティにより雇用が長続きせず就労を断念せざるを得ない。そこで、就労前の児童を対象にし、高齢者向けのデイサービスなどでジョブトレを行い、様々な事を早期に学ぶ。そこで高齢者と交わる事で、高齢者にも良い影響を与える事が考えられる。色々な人が共生する事により理想的なノーマライゼーションに近づける。</p>

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校の長期の休み以外にも、祝日等を利用し実施出来た。 7月4回・8月6回・9月1回・12月2回・1月1回・2月2回・3月4回 合計20回実施（延べ人数20人） ジョブトレのチラシは夏休み前 はなみずき便りの7月号は6月下旬～7月上旬 はなみずき便りの8月号は7月下旬～8月上旬 はなみずき便りの9月号は8月下旬～9月上旬 はなみずき便りの翌年4月号は3月下旬～4月上旬 	<p>利用者・家族・居宅介護事業所・その他関係各所に必要数配付</p>
-------	---	-------------------------------------

お散歩風景

皆さんで目の前の大栗川遊歩道をお散歩しています。



事業の成果・効果	<p>小学6年生の児童が今回参加しましたが、病気や障害を持ったご高齢の方達に対し、思いやりの心が芽生え、それぞれの人に応じた対応が多少なりとも出来るようになり、ご利用者の方々に喜んでいただけました。</p> <p>スキルとして、直接就労に結びつくレベルになるにはまだ時間がかかるでしょうが、今後も、この活動を通じて地道に努力していきたいと考えます。</p> <p>また、子どもがデイサービスに参加した波及効果として、以下がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の姿が見えると、高齢者の方達に自然と笑顔がこぼれました。 ・ 普段あまりお話しをされない方も、児童の手を握りうれしそうにお話し始めました。 ・ 元気な児童ならではの、元気な遊びもたくさん取り入れ喜んで頂けました。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>事業の実施に重点を置いた為、対象者を絞りチラシの印刷が少なくなった為。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>八王子市の「市民活動通信」にも取り上げられ、だんだんと認知されてきた。</p>

今後の事業展開	<p>今後も、積極的に取り組んでいきたい。</p>
---------	---------------------------

事業名	『Myお手玉で お手玉遊び』		
団体名	八王子お手玉の会		
事業費	176,055円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>17年度市民企画事業支援部門で補助金交付の対象にして頂いたことはお金では買えない信用と信頼を得ました。児童館・学童保育所等でもお手玉遊びを通して日本の伝統文化である正座・お辞儀の仕方等に目をはるものがあり、定期的に活動する事による効果も見られました。中高齢者にお手玉は懐かしい昔遊びであり、子ども達にとってはまったく新しい興味のある遊びです。しかし中高齢者でもお手玉を操る事は出来ても、子どもとの遊び方を知る人が少ない事が、17年度の活動で分かりました。</p> <p>さらにシニア・中高齢者を対象にお手玉講習会を開催し、お手玉遊びの支援者を増やし、家庭の中にも広めたい。中学生、高校生やこれから定年を迎える団塊の世代をも取り込み、中高齢者と子どもの居場所を結びつけ、子ども達の健全育成に寄与出来たらと考えます。</p>
	<p>内容</p> <p>中学生・高校生に広めるための広報活動を行う。</p> <p>シニア・中高齢者を対象としたお手玉講習会を開催し、お手玉支援者を増やす。</p> <p>自由遊びの『作って遊ぼう お手玉遊び』をいちょう祭りでいっしょに行い広報活動を行う。</p>

事業の実績	内容	活動回数	
	高等学校	1校	2
中学校	2校	8	
小学校	3校	4	
児童館	9館	42	
出張児童館による小学校での活動	9校	9	
学童保育所	4ヶ所	17	
保育園	4園	20	
子育て支援関係	7ヶ所	4	
市民企画事業講習会	4ヶ所	9	
他依頼講習会	3ヶ所	4	
いちょう祭り・子ども祭り他	4ヶ所	5	
他		6	



寄せだま 講習会 童心に返って



加住中学校 暑いなか一生懸命頑張りました

事業の成果・効果	<p>中高齢者の活動の場が広がり、自らが楽しみ、それを伝承する事を心から喜んでいる。 中学生・高校生の間にもお手玉はすぐに受け入れられた。 支援者を増やす為の講習会を、4回開催する事が出来た。 子どもがお手玉を縫っている間、辛抱強く待っていてくれる親が増えた。 親子同じ体験により、家庭にお手玉が入っていった。 幼児の子育て支援にもお手玉は多く取り入れられた。 途絶えかけていたお手玉作りと、遊びが蘇った。 子どもたちにお手玉遊びと一緒に、温もり、礼儀作法、人を敬う心、思いやる心を届けられた。人とのかかわりで、人は育ちます。 お手玉の材料から、環境問題を考えるお手玉づくりがはじまった。 お手玉作りを体験した学童が『こんなに作るの、大変だったのだね。』と言って大切に扱うようになり、集中してお手玉に取り組み、目を見張るような変化が現れた。 学童が『一番うれしかった事は、お母さんと同じ片手2個のお手玉が出来るようになったこと』と、感想文に書いていて呉れました。これこそがお手玉の会が目指している、親子のコミュニケーションに役立ってほしいと願っていた事です。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>支出項目に変わりはないが活動が増えたことにより、材料費が増えた。謝礼、授業等の材料費の収入で賄う事が出来た。講習会の受講希望者が多く回数を増やした事により会場費が増えた。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>市民企画事業・活動支援センターでネットワークの大切さを知り、多くの方のお力添えを頂きました。</p>

事業展開 今後の	<p>さらにお手玉に興味と意欲を持ってもらうために、お手玉遊び大会第1回目を19年度に開催する。 会員研修を充実させ、多くの要望に応えられるように体制を整える。</p>
-------------	---

事業名	夢あるまちづくり		
団体名	夢あるまちづくり協議会		
事業費	111,180円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>昨今の高齢化・少子化現象や防犯上の不安な現状、及び地域の活性化が求められている現状を鑑み、地域の方々の御意見を広くお聞きするため学識経験者を交えて地域づくりの学習会及び意見交換会を開催した。</p> <p>その結果、参加者による地域の問題点・今後の希望、理想についての発表を通して、多数の方々がより良い地域をめざしていることが判明した。</p> <p>そこで地域づくりの学習会及び意見交換会での御意見を実現し、住民間の幅広い交流を行いながら市民活動の活性化を図る組織的活動が必要であると考え、本協議会を設立した。</p> <p>本協議会は地域に根ざした活動を目的としており、地域住民各位が本協議会活動に積極的に参加して頂くため、本協議会の諸活動を積極的に広報することとした。</p>
	<p>内容</p> <p>地域住民の安全と住み良いまちづくり実現のため、下記テーマ毎に検討課題を設定しその実現方法を検討するとともに、当該地域住民（約3,000世帯）に対し本協議会活動を周知するための広報活動を行う。</p> <p>安全、安心なまちづくり（グループ1活動） 防犯マップ作成、防災キャンプの企画広報</p> <p>住民各位の夢を実現するための活動（グループ2活動） 住民各位が要望する各種活動（生涯学習等）の企画広報</p> <p>商店街の活性化・循環型の環境作り（グループ3活動） 朝市、リサイクル学習会（生ゴミの堆肥化、廃油利用による石鹸作成等）企画広報</p> <p>心ふれあうまちづくりの実現（グループ4活動） 世代間交流の機会と場の提供、高齢者・子育て世代のたまり場・居場所づくりの企画広報</p>

事業の実績	<p>本年度の事業（企画）は、多少の時期的なずれはあったが、予定どおり実施できた。</p> <p>具体的な企画の実施内容は以下のとおり</p> <p>広報機関紙発行 / 歩こう会開催 / ほたるを見る会 / 朝市開催 / 男の料理教室開催 / 緑の教室（リサイクル学習会）開催 / 防災キャンプ開催 / カラオケの集い（夢まちクラブ）を設立、開催 / 鹿島納涼大会参加・運営協力 / 松が谷納涼大会参加・運営協力 / 鹿島・松が谷子ども祭り参加・運営協力 / 松が谷連絡協議会委員会への出席・報告 / 鹿島地区連絡協議会への出席・報告 / デジタルハリウッド大学説明会参加 / デジタルハリウッド大学三者協議会に住民事務局として参加</p>
-------	--



事業の成果・効果	<p>年間の継続的な広報活動とバラエティに富んだ企画の実施により、認知度を高めることができ、また地域の皆さんの参加を得たことにより、地域の「夢あるまちづくり」に寄与できたと思う。本年度も鹿島地区連絡協議会、松が谷連絡協議会から専門委員を派遣していただき、積極的な意見交換を通じて良好な協力関係を維持できた。</p> <p>とりわけ防災キャンプは、昨年度に引き続き2回目の開催であったが、市の後援を受け延べ100名の参加者を得て成功裡に実施できた。</p> <p>本番では協力いただいた八王子警察や消防関係者からも、初めてであり、かつ有意義であったとの評価を売ることができ、われわれの活動の手ごたえを感じることができた。警察には災害発生（擬似）から解除に至るまで会場周辺及び地域のパトロールをしていただいた。さらにFM多摩ならびに多摩ケーブルテレビから取材を受けるなど、会そのものと活動への関心を高めることができた。</p> <p>本年度は新たに民間企業の協力を得て、防災、防犯に関する講習をしていただいた。デジタルハリウッド大学の進出にあたっては、松が谷連絡協議会の委嘱を受け、大学、市、住民の三者協議会の住民事務局としての活動を継続している。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>実施にあたってより詳細な検討修正をおこなったため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>かなり欲張った事業計画であったが、企画が多数あったことが会員並びに住民各位の関心持続につながっていると思う。</p>

今後の事業展開	<p>さまざまな企画の実施ならびにそれに付随する広報活動を通じて本協議会の内容、活動方針等への地域の理解が深まってきており、協議会発足依頼3年間、継続してかかる広報活動を続けたことにより、より多くの地域の方々の参加を得られた。</p> <p>協議会発足以来の活動実績を通して地域の皆様から活動を評価して頂けたと考え、地域に根ざした活動を目的とし、本協議会への広範囲な、また継続的な地域住民『参加』を促進するため、次年度以降は本格的な企画運営と広報活動を行うこととした。</p>
---------	--

事業名	喫茶 Mulberry		
団体名	クッキング ビィ		
事業費	224,267円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 全国から八王子に集まってきた私たち学生は、全国津々浦々のご当地食を舌で知っている。北は、北海道。南は、沖縄。また、3,500名にも及ぶ留学生は、全世界から八王子に学びにきている。食という生活に欠かせない身近なもので、交流をしながら食について楽しく考えていきたい。その為には、広く周知を図っていき、多くのご当地食に触れあっていくことを目的としている。もう一つは、八王子と学生の魅力を活かした活動を望んでおり、オリジナル料理を試作し、八王子ブランドの創造も目的としている。
	内容 八王子の食文化の向上と学生相互と学生と市民の交流が見込まれる。 喫茶 Mulberry の活動の周知が、オリジナルレシピの普及に繋がり食育にも貢献できる。 全国各地、世界各国の学生の食文化にふれることで、より親しみやすいきっかけを提供することができ、異文化理解、国際交流の推進にも貢献できる。 学生の提案する八王子らしさが学園都市づくりの推進。

事業の実績	5月14日に八王子学生委員会主催の 学生天国 に協力・参加した。 喫茶 Mulberry は、好評を得た。 八王子学生郷土さがし隊！！主催の みちざねくん。お披露目会にて販売された梅のあんぱんの発案や合格カツサンド等の食品関係の提案や試作などに協力。 第1回ガスパール・カサド国際チェロコンクール in 八王子の関連イベント エントランス・ザ・カサドにて、マルベリーケーキの販売を行った。 学生アイデア料理コンテスト～桑の葉杯～の準備委員会を立ち上げた。
-------	---



事業の成果・効果	<p>学生天国 への参加では、多くの学生と市民との交流を果たせた。また、臨時出店における衛生面での注意や安全・安心に食事を提供する必要性を感じ、今後の活動の教訓になった。過去には、桑のチーズケーキや桑の葉カレーを販売したが今回は、新レシピ 沖縄料理のサーダーアングギーの販売を行った。沖縄出身の大学生の提案で、地方出身者の食文化と八王子の歴史的な桑都とのコラボレーションが実現できたことは、大いに意味のある活動であった。</p> <p>みちざねくん。お披露目会では、同じく市民企画事業を受けている団体からのお声かけにより、協働することができた。梅を使ったオリジナルパンの作成を相談され、パン屋さんを紹介して、マッチングすることができ、好評を得た。</p> <p>エントランス・ザ・カサドでは、マルベリーケーキを低価格で販売した。100円なので、気軽に購入していただいだけ、完売した。全市をあげての、国際的コンクールに学生の参加ができ、学園都市の魅力を発信することができた。</p> <p>協力団体との競技で、学生アイデア料理コンテスト～桑の葉杯～の延期を決定した。積極的な連携を今後も継続し、開催に向け活動を展開していく。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ) 当初は、アイデア料理コンテストの開催が中心の申請であったため。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ) 活動そのものは有意義だったのだが、申請とは異なり当初の期待した効果とは、異なる成果であった。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	

今後の事業展開	<p>学生の食文化は、十人十色である。コンビニ弁当やファーストフードが注目されがちだが、学生の出身地方には、多彩な食文化が溢れており、それを引き出せるような活動を今後も展開していきたい。</p> <p>学生アイデア料理コンテスト～桑の葉杯～を開催し、簡単レシピを完成させて、食文化のコラボレーションをしていきたい。</p>
---------	---

事業名	君にとどけたい愛のコンサート（視覚障害者音楽家とともに）		
団体名	八王子フィルハーモニー合唱団		
事業費	2,443,415円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>視覚障害者音楽家のもつ高い音楽性と努力とパワーを市民の人達に少しでも理解して頂き感動を与える演奏会にしたい。</p> <p>彼等の活動をサポートすることにより、又障害者の人達を招待することにより生の音楽にふれて頂くことは大きな社会貢献が出来ると考えた。</p>
	<p>内容</p> <p>視覚障害者音楽家と合唱団とが一緒になって演奏したり、又独奏もある。</p> <p>後半は民話がテーマなので芝居仕立にして独奏、合唱と客席にわかりやすい曲を演奏し、又手話による演奏で客席と一体となった。</p>

事業の実績	<p>いちょうホールの大ホールが殆ど満席となった。市内の視覚障害者（30名）、車椅子（4名）の方達と多勢お招きして楽しんで頂けた。</p> <p>合唱を自分達が楽しむだけでなく、少しでも社会貢献の出来る活動（演奏会で）であったと思う。</p> <p>視覚障害者音楽家は出演出来る場所が少なく、出来るだけその様な場を作ることが支援になると思うし、彼等は出演料の中から後輩を育てるためにサポートをしていることもよく考えて上げた。</p>
	<p>事業の結果については非常に満足している。</p> <p>平成18年12月15日 いちょうホール大ホールにて実施</p> <p>開演19時 終演21時 入場者数760人</p>



事業の成果・効果	<p>目の不自由な音楽家は楽譜を点字にするために、大変経費もかかるし、練習に来る度にサポートする人も必要で、考えている以上に経費もかかり出演料も高くなる。</p> <p>その様な事もふまえて、今後も出来るだけジョイント演奏会を持ちたい。そして、サポートして上げることが私達健全者の仕事ではないかと思う。</p> <p>満席のお客様が1人でも多く彼等の音楽に感動し、又理解をして上げられたのではないかと思います。</p>
----------	---

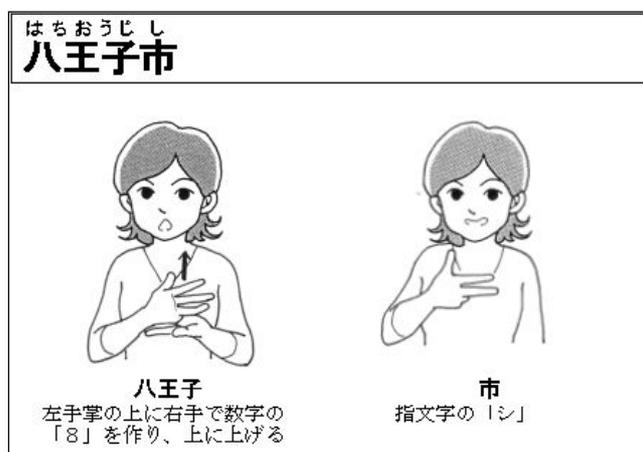
自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>収入50万円減少・・・オケピット上げたためと、招待者が多いためにチケット売上減少した。(オケピット・・・オーケストラの舞台を広げるため客席を少なくする場所)</p> <p>支出50万円減少・・・指導料、会場費、印刷費が予算より少ない。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>多数の市民に視覚障害者音楽家の高い音楽性を理解して頂き感動を与えたこと。多数の障害者を招待出来たこと。</p>

今後の事業展開	<p>2007年7月29日 プロムナードコンサート(市民会館)「カルメン」</p> <p>2007年12月1日 クリスマスミニコンサート(村内多目的ホール)</p> <p>2008年8月26日～8月31日 ケムニッツオーケストラ招待、合同演奏会</p>
---------	--

事業名	「八王子の手話」ガイドブック		
団体名	八王子市聴覚障害者協会		
事業費	216,655円	補助金額	108,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>平成19年に協会創立35周年を迎えるにあたり、当会の義務ととらえて八王子固有の地名手話を記録し、伝えていくために、「八王子の手話」ガイドブックを刊行することを目的とします。</p>
	<p>内容</p> <p>「八王子の手話」には八王子固有の地名手話表現、および八王子での生活に関わる施設、交通機関、名所等の手話表現とそれにまつわるコラムを掲載します。それらのより正しい手話表現を吟味し、決定した手話表現のイラストを作成してもらい、イラストができたら正確かどうか確認し、同時にコラムを作成し、印刷できる原稿を作成するのが今回の事業の内容です(印刷は19年度に行う予定)。</p>

事業の実績	<p>編集会議は基本的に毎月第2、4週目の火曜日とし、主に子安市民センターにて延べ23回もの会議を開催しました。</p> <p>編集委員は10名(うち1名はコラム担当で常時出席しない) 毎回平均出席者は7名でした。</p> <p>各回、手話表現の吟味を2時間～2時間半もの時間をかけて行い、その結果を元に外部の人にイラスト作成を随時依頼していきました。</p> <p>イラストの目標数は町名・交通機関・施設等合わせて190表現分(コマ数にすると1つの表現あたりのイラストを3コマとして全部で570コマ)としていました。</p> <p>最終的には、手話表現や完成したイラストの確認に時間がかかったこともあり、町名の全てのイラストと、生活に関わる施設などを構成するイラスト(例えば「子育て相談センター」のうち、「子育て」「センター」のみの完成している場合などもある)も含め、コマ数にして全部で317コマのイラストが完成しました。表現数としては、目標190表現のうち、先ほど述べたとおり全ての町名の約120表現が完成することができました。</p> <p>(作成が間に合わなかった部分は平成19年度に作成し、原稿が完成したら予定通り印刷する予定です)</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>平成18年度はイラスト作成が目的で、冊子状にしたものは成果としてできませんが、八王子の町名約120のイラストが完成するなど原稿作成を進め、結果を出せました。</p> <p>1年間をかけてじっくり吟味できたことはより正確性を期すことができたと思っています。</p> <p>効果としてはいままで曖昧にしてきた手話表現をその表現方法をきちんと定めることができました。</p> <p>また、今年度イラストを作成して原稿を作ることで、来年度に原稿を印刷して本を完成させて発行することができれば、記録、伝承としても大きな重要な意味をもつ本になることが期待できます。</p> <p>また、本を発行することにより表現の共通化を図ることができます。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>表現の正確性とイラストのわかりやすさが求められたため、全体の進捗が遅くなり、イラストの完成枚数が当初予定していた枚数に至りませんでした。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>上にも書きましたが進捗が遅れ、イラストの完成枚数が当初予定していた枚数に至らなかったため、出来高払いのイラスト謝礼が大幅に予定を回りました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>八王子固有の地名などの手話表現をまとめた本は従来なかったので、その事業を始めることができた意義は大きいです。</p>

今後の事業展開	<p>平成19年度も引き続き市民企画事業補助金を交付していただき、平成18年度に完成できなかった分のイラストの作成と、12月の創立35周年記念式典に向けて印刷・発行に取り組みます。</p>
---------	--

事業名	八王子子ども祭り		
団体名	八王子子ども祭り実行委員会		
事業費	1,429,948円	補助金額	600,000円

事業の目的・内容	目的 「子どもたちに仲間、希望、豊かな文化を！」を合言葉に様々な分野での個人、団体が協力し合って秋の一日、子どもたちが500円玉1つ持ってくれば楽しく遊べる事業ということで毎年、企画・実施しています。はじめのころは、小学校の校庭で行っていましたが、最近は陵南公園に定着しています。
	内容 中央舞台、第二舞台～子ども中心のうた、踊り 特別イベント～「ミニSL」「くじ」「乗馬」「オリエンテーリング」「ふれあい動物園」 手作りコーナー～木工作、紙工作、ビーズ他 食べ物コーナー～カレーナン、やきそば、わた菓子、コーヒー、おしる粉、細工あめ

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の事業は参加者3,000人弱であったが、市民企画事業に認定され、補助金がいただけたので、イベントの内容を充実させることができました。 ・ふれあい動物園・・・やぎ、羊、うさぎ、かめ、ミニぶた、ハムスターなどのコーナーをはじめて設けました。
	イベント <ul style="list-style-type: none"> さるまわし 2回実演 従来どおりのイベント・・・中央舞台、第二舞台での市民、子どもの出し物、ミニSL、くじ、オリエンテーリング、手作りコーナー、食べ物コーナー、平和展、ペットボトルロケット 新しく充実したイベント、江戸細工飴、乗馬コーナーはポニーの追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに今年度より交通費支給、又、スタッフジャンパーを購入することができました。座卓を購入することによって手作りコーナーが充実しました。 ・平成18年11月12日(日)10:30～14:30 陵南公園で開催



中央舞台では子ども達が元気いっぱい



たくさん子ども達を乗せて実際にSLが動きます

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りも27回目を無事に終わることができましたが、資金難とボランティアの高齢化で存続がだんだん厳しくなっていますが、今年度は市民企画事業に認定されたことにより、資金的には今までよりもゆとりを持って行うことができました。 ・イベントの内容が、今年度は充実していたので、3,000人の参加者の皆さんには喜んでいただけたと思う。立派なマガジンラック（木工）が200円で作れたと喜んでいた家族がいた。 ・中央舞台、第二舞台の出演者も毎年出るグループもいるし、又新しく加わって下さった方もいて充実してきている。 ・手作りコーナーは、市内の建設会社の方々、学童、学校関係、子ども劇場等多数の団体が実施。食べ物コーナーも応募店が多く、市民参加型のお祭りになってきていると思う。 ・準備期間、前々日、前日準備、当日の要員、片づけとたくさんの仕事を担うボランティア・スタッフの数は足りない。交通費が支給できたのはよかった。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>内容はチラシの印刷費が予定価格より安く収まったり、レンタル料、ボランティア交通費が計画より多少かかったりの変更です。ボランティアスタッフジャンパー、座卓なども予定外に購入できました。</p>
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の搬入、搬出、交通安全、片づけなど力を合わせて問題なく終わることができた。 ・ケガや事故のないように配慮した。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も前年度の2/3の補助金を頂いて、イベントの充実をはかりたい。 ・交通費などを支給することにより、ボランティア・スタッフの負担を減らしたい。 ・雨天中止ではあるが、準備された方が、困らないように考えていきたい。
---------	---

事業名	子育て支援と高齢者の生きがいつくり事業		
団体名	きよびー		
事業費	5,461,614 円	補助金額	1,000,000 円

事業の目的・内容	目的 地域に子ども支援と高齢者支援のための活動拠点を作り、生きがいつくりと世代間の交流を通して連帯感を養い住みよい安全な町づくりをする。 また、子ども支援や高齢者の生きがいつくりのためのイベントを実施する。
	内容 1. ボランティアによるサロン活動や厨房での惣菜づくりと販売等を通し、地域住民との交流と親睦を深め、高齢者の生きがいつくりと住みよい町づくりを推進する。 2. 伝統文化の継承や健康増進の観点から、子ども支援や高齢者支援のイベントを企画し、実施する。

事業の実績	1. サロン活動 (1) ボランティアにより、毎週月・木・土・日の4日間、10:00～17:00までサロンを運営し厨房での惣菜づくりと販売等の活動を実践した。 (2) 参加者同士の親睦と連帯感を深めると共にサロン利用者との交流を通し、情報交換と連携を深めることができた。 2. 特別企画教室 (1) 夏休み母と子のパンづくり教室、8月12日実施、参加者：親子4組9人 (2) ゲームで遊ぶ子ども教室、8月24日～28日実施、参加者：27人 (3) ラスクづくり教室、9月30日実施、参加者：3人 (4) カルカン饅頭づくり教室、11月19日実施、参加者：10人 (5) 凧づくり教室、12月26日実施、参加者：子ども32人、ボランティア11人 (6) 春休み川遊び教室、3月27日実施、参加者：子ども36人、ボランティア15人 3. イベント活動 (1) 檜原小学校サタデースクール支援。和太鼓祭座公演と流しソーメン、7月8日実施 参加者：生徒93人、一般住民117人 (2) 健康づくり教室。永生病院にて院長講演と施設見学、10月1日実施、参加者：53人 (3) トーク&コンサート 八王子二中体育館で山田パンダ氏の講演とライブ、11月29日実施 参加者：生徒330人、一般住民216人
-------	--



サタデースクール（和太鼓）



健康づくり教室



山田パンダ氏
トーク&コンサート

事業の成果・効果	<p>1. サロン活動</p> <p>(1) サロンの運営や厨房での惣菜づくりに参加したボランティアは、毎回6人から10人で高齢者が中心、利用者は一日平均20人位であった。</p> <p>(2) 参加したボランティア同志の親睦が深まり、利用者との世代間交流や情報交換もスムーズにできた。また、地域が抱える諸問題についても共通理解を得ることができた。</p> <p>2. 特別企画教室</p> <p>(1) パンづくり教室、ラスクづくり教室、カルカン饅頭づくり教室など参加者から好評で作る喜びと会話を楽しむことができた。</p> <p>(2) ゲームで遊ぶ子ども教室、凧づくり教室、春休み川遊び教室は、地域の子どもたちに伝統文化と自然環境の豊かさについての認識を深め、ボランティアとの交流に役立てることができた。</p> <p>3. イベント活動</p> <p>(1) 健康づくり教室では、地域の老人会に呼びかけ人数限定のイベントであったが、健康管理の大切さを再認識し、リハビリ体操などの体験ができた。</p> <p>(2) サタデースクール支援とトーク&コンサートでは、小学校・中学校を会場としたので子どもたちと地域の高齢者との交流を深めることができた。</p> <p>特に、トーク&コンサートでは、山田パンダ氏の講演とライブが中学生の視点に立った内容で参加者一同感銘を受けた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 平成18年3月から、商店街の店舗を有料で借用して始めた事業であるため、サロンの運営や惣菜づくり等についての経験不足から収支計画と実績報告に多少の変更があったことを反省している。
	その他、評価すべき点等	きよびー設立の目的である「子育て支援と高齢者の生きがいづくり」については、未経験な1年目としてそれなりの成果をあげることができたと考えている。

今後の事業展開	<p>地域の福祉活動は、経験を積み継続することが必要であるとする。18年度の経験を生かし(1)サロン活動、(2)特別企画教室、(3)イベント活動の各分野について充実を期していきたい。</p>
---------	---

事業名	フォーラム「障害者をつくるパフォーミング・アーツの可能性と課題」		
団体名	AIR - 空 パフォーミング・アーツ研究会		
事業費	1,000,677円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>本団体が2003年より企画・運営する「西東京アクターズスクール」(障害者の舞台人演劇人養成講座)の活動を事例とし、舞台表現の可能性と課題をテーマとしたフォーラムを行う。</p> <p>自発的な個の集まりである「西東京アクターズスクール」の活動から、真の意味でのノーマライゼーションの可能性と共に考えを深める。また、有識者の広い視野と現場スタッフの実践を合わせることで福祉施設や大学が多い八王子市を拠点とした活動の成熟につなげたい。</p>
	<p>内容</p> <p>フォーラム前半では、基調講演に続き、5人の福祉関係者、教育・アート現場の実践家によるパネルディスカッションを行う。後半では「西東京アクターズスクール」の現場スタッフによるそれぞれの立場から3年間の活動を報告。その後、修了公演を間近に控えたスクール生をインタビューした記録映像を上映。最後に会場の皆さんとの質疑応答。フォーラム終了後、フォーラム映像(DVD)とパネラー、スタッフによる文集を記録集として作成する。</p>

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> WASフォーラム・ショー2006「空き地あります！」 ～ 西東京アクターズスクール(略称:WAS ワス)の3年間 ～ の開催。 日時： 2006年4月22日(土) 17:30～20:45 会場： 八王子市クリエイティブホール5階 ホール 参加費： 1,000円(資料代含む) 企画・主催： AIR - 空 - パフォーミング・アーツ研究会 (AIR.P.I.A.) 協賛：株式会社 織元 後援： 八王子市 参加人数：199名
	<ul style="list-style-type: none"> 今回のフォーラムは、「西東京アクターズスクール」の魅力伝えるために「フォーラム・ショー」というスタイルで行った。具体的には、基調講演をする際にパフォーマンスを交えて行ったり、パネルディスカッションのパネラーが舞台衣装をつけて出演したりして、視覚的にも楽しめるフォーラムを工夫した。また、障害のあるスクール生の素顔をとらえたインタビュー映像を作成し、上映することで、西東京アクターズスクールの雰囲気をそのまま観客に伝えることができた。 フォーラム当日に配布する資料として、現場スタッフが活動への想いを寄せた文集を作成。また、フォーラム終了後には、パネリストとスクールスタッフ約20名が文章を寄せた小冊子「空き地あります！～西東京アクターズスクールのMAP～」(フォーラムの様子を編集した記録DVD付き)を300セット作成した。



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 今回のフォーラムでは、映像を使用したり、舞台製作の現場スタッフからメッセージを伝えたりすることで、観客のみなさんに障害のある人たちの高い表現力と創造性について理解を深めてもらうことが出来た。また、有識者の広い視野と現場スタッフの実践をあわせて発表したことで、内容的にも深いフォーラムが実現した。 西東京アクターズスクールがこれまでパフォーミング・アーツのワークショップやステージワークを通じて築き上げてきた「ちがいを生かした豊かな人間同士の関わりの場」を具体的に紹介することで、社会の中でアートが果たす役割を目に見えるものとしてみせた。これは、現在さまざまな問題を抱える文化芸術、教育、福祉の各現場に対する新たな問題提起となった。 フォーラム当日は、スクール生（障害のある当事者）からの発言もあり、障害者が通うことが出来る表現の場が未だ少ない現状や、多くの人との出会いを通じて共に活動する喜びを観客のみなさんに知ってもらうことが出来た。 終了後に作成した、小冊子（フォーラムの様子を編集した記録 DVD 付き）は、今後この活動への理解を深めると同時に、活動を通じて障害者のノーマライゼーションを進めていく大切な資料となった。また、冊子を作成したことによりフォーラムで得た様々な考えを、それぞれのスタッフたちが持ち帰りまとめるきっかけとなり、現在まさに活動中の西東京アクターズスクール第 期 の活動をより豊かなものとしている。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、この小冊子を市内の公共施設や教育現場、福祉施設や、アート関係者、企業などに配布し、この活動が八王子においてより成熟し、八王子市を基点に他の地域へ広がりを持っていくことを目指す。 「西東京アクターズスクール第 期 修了公演」(2007年4月15日 八王子市芸術文化会館(いちょうホール))にて小冊子の販売を行う。
---------	--

事業名	JOYCCO ちびっこ倶楽部		
団体名	特定非営利活動法人 八王子子ども劇場		
事業費	708,483円	補助金額	354,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>乳幼児期の子育てのプラス面に目を向け、一緒に遊んだり時間を共有することが楽しいと親も子も感じることでお互いへの信頼感を育て、また本物の文化に触れることで子どもの心を育て同時に大人も豊かでゆとりある時間を過ごせると提案した。</p>
	<p>内容</p> <p>乳幼児(0~3歳)を持つ親子を対象にして、年間6回の文化体験と交流を目的とした事業を実施した。</p> <p>音楽体験『親子のぼっかばかコンサート』演奏家4名による生演奏と歌のコンサート。前後や合間に手遊びなどの交流を多く取り入れ、リラックスして音楽に触れる環境を整えるのに工夫をした。</p> <p>『親子体操』は専門家の指導で、子どもとの触れ合い遊びから発展し体操の要素を取り入れた親子で一緒にできる運動をした。</p> <p>演劇体験ワークショップ『くりくりびっくり』は、NPO法人「アフタフバーバン」の2名の講師により、演劇の要素を取り入れ表現する「どんどん発展するごっこ遊び」を体験した。</p> <p>『MUSIC STORY』は、馬頭琴演奏と朗読による音楽と民話のコラボレーション。</p> <p>『みんなでいっしょにお正月あそび』はわらべ歌やお手玉、福笑い、羽根つき、かるたといった懐かしいお正月のあそびを親子で一緒に体験した。</p> <p>『親子でいっしょに絵本を楽しもう』は読書アドバイザーを講師に初めての本選びの基礎を題材に講演を行い、おはなし会付きの交流会では絵本を紹介して親子と本の出会いの場を作った。</p>

事業の実績	<p>5月16日『親子のぼっかばかコンサート』 参加者 親子27組 計58名</p> <p>6月26日『親子ぼっかばかたいそう』 参加者 親子16組 計35名</p> <p>10月31日『くりくりびっくり』参加者 親子14組 計28名</p> <p>12月4日『MUSIC STORY』参加者 親子20組 大人14名 計56名</p> <p>1月30日『みんなでいっしょにお正月あそび』参加者 親子18組 計38名</p> <p>3月5日『親子でいっしょにえほんを楽しもう』参加者 親子16組 計32名</p>
-------	---



『MUSIC STORY』より



事業の成果・効果	<p>毎回参加者にアンケートを実施したところ、真剣に時間をかけて記入する参加者が多かった。記入率も高く「親子で素敵な時間をすごせた」「小さい子どもが1時間あつという間と感ずるほど夢中になっていた」など、感動が伝わってくる感想が次々に寄せられた。特に の専門家による演劇あそびは、想像力を使ってなりきってあそぶ楽しさを親子で発見しただけでなく、子どもとの遊び方そのものを考えさせられるきっかけになったという意見があった。また は、打合せから専門家と話し合い作り合う作業が出来たことでスタッフにも手応えがあり、参加者からも次回開催に向け建設的な意見が寄せられたケースとなった。</p> <p>このように、どの回もただ参加するだけのイベントに終わらせず、家に帰って親子で続きができたり、新しい遊びへと発展する余地を残して、交流へとつなげた。交流でゆっくり話し込んでいく中では、幼児を持つ親子が気軽に本物の文化に触れることが出来る場合は貴重であり、これからも機会があれば参加したいという声も多かった。実際に回を重ねていくと、複数回参加する親子も見られるようになった。</p> <p>本物の文化に触れる機会を求めることが難しい幼児にとって、初めての文化体験はまず身近な人とコミュニケーションを取りながら好奇心を刺激し、新鮮な驚きや感動を味わうことから始まる。豊かな感性や想像力を育むことにより、文化に親しむ力を幼児期から身につけていけるよう、このような事業を継続していくことは大切だと実感した。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 子ども家庭支援センターの協力により、会場を2回無料で借りられたほか、広報活動でもポスターの掲示や案内配布などがお願いできた。これにより当初予算より参加費を減額することが出来た。ただし参加費がかかるものについては担当課からのチラシ配布が出来ず、家庭支援センター以外の公共施設でもチラシ配布を断られるなどしたため、案内チラシを何度も増刷してDMやポスティング配布するなど広報活動には大きな予算が必要だった。また開催する場所が異なることで、その条件に合わせての入念な計画と準備が必要となり打合せ回数が増えた。この他企画内容に合わせて当日スタッフを必要数増員するなどした。
	その他、評価すべき点等	年6回開催としたことで、事前準備にじっくり取り組むことが出来た。

今後の事業展開	親子向けの文化体験事業は地域社会の中で必要とされているようなので、これからも継続していく。今後はさらに気軽に参加できるよう同じ場所で毎月開催することで地域への定着を目指していく。
---------	---

事業名	八王子福祉ガイド ホームページ作成事業		
団体名	わかこま自立生活情報室		
事業費	130,300円	補助金額	65,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>八王子の観光・宿泊・交通アクセスなどのバリアフリー及び福祉資源に関する情報を調査し、インターネット・出版などを通じ市内・市外の人々に幅広く提供してゆくことにより、高齢者・障害者の方の外出を支援し、社会参加の機会を増やしていく。またそれは障害者・健常者問わず、魅力のある八王子を紹介するということである。</p> <p>調査に重度障害者が定期的に関わる事により、当事者の視点にたった福祉ガイドを作成する。また他団体と協力して取材することにより、障害の垣根を超えた活動を展開する。</p> <p>地域に住む障害者に積極的に声をかけ取材に参加してもらうことにより、家に引きこもりがちな障害者の社会参加を促進させる狙いもある。</p>
	<p>内容</p> <p>市内の観光・宿泊・病院などに調査票を送付し、回収したデータを元に、WEB・冊子などにまとめ、多くの障害者に見てもらおう。</p> <p>障害の種別を越えた多くの障害者に実地で取材してもらい、客観的なデータだけでなく主観的な評価を交えたガイドを作成する。</p>

事業の実績	<p>調査表の送付、電話による取材、書籍・インターネットの活用など様々な手段で調査を実施し、有効回答総数は約2,200件にも及んだ。</p> <p>また事業に関わってもらった重度障害者の数も30名を超えた。</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>八王子を観光地・宿泊施設・アクセス・医療・車イストイレ・福祉情報・データ集に大別し、さらにその内容もさらに細かく26の分類で調査を実施した。調査の方法は調査票を送付し回答を得るもの、実際に現地に行って取材するもの、電話による聞き取り、インターネットなどによる情報収集などに別れ、2005年度から始まった調査の総データ件数は3,000件以上に及んだ。</p> <p>データの収集にだいぶ時間がかかったことと、編集作業の技術的な問題からだいぶ時間がかかってしまった。そこで効果的に情報を発信できるホームページの作成に主力をおき、冊子版の作成事業を削減した。</p> <p>データの量・質は満足のいくものが得られたと思う。また協力者（障害者・健常者）との連携も上手くいった。</p> <p>WEB上での編集には時間がかかり、まだ作成途中であり、今後も随時更新を続けていく予定である。</p>
----------	---

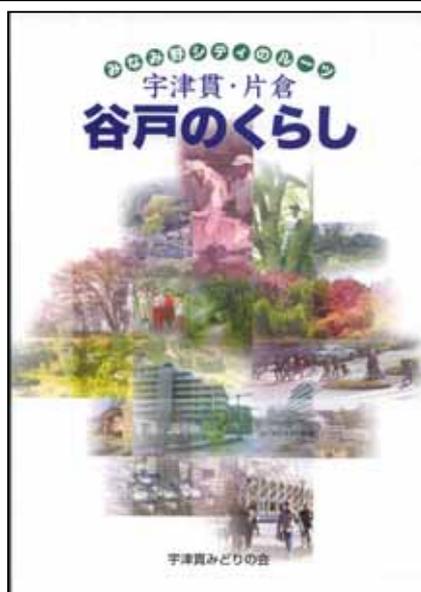
自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p> <p>ホームページの作成に時間がかかり冊子の作成まで手がまわらなかった。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>冊子版の作成をしなかったため、出版費が大幅に削除された</p>
	その他、評価すべき点等	<p>本来事業の多忙で継続して事業ができなかったため、作業にムラが出てしまった。</p>

今後の事業展開	<p>この福祉マップ作成事業は、今後も八王子市がある限り「終わり」のない事業という考えで継続し、さらに発展させていくものと私たちは考えています。今後も障害者（高齢者）が健常者と同じように、平等に社会参加できる社会の実現をめざし、地域の中で自分たちができる精一杯の力で事業を継続していきたいと思っています。</p>
---------	--

事業名	「みなみ野シティのルーツ 宇津貫・片倉 谷戸のくらし」 出版		
団体名	宇津貫みどりの会		
事業費	2,200,946円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>みなみ野シティ開発前の宇津貫町は、恵まれた自然環境の中で人々が長い間ほとんど変わることなく農業を営みながら暮らし、「里山」の文化が息づき、生物相も多様なところでした。新しい都市型の生活が進み、世代も変わっていく中で、この幾世代も継承されてきた貴重な財産を後世に伝えていくために記録として残すことを目標にしました。これまで受け継いで来られた方の高齢化も進む中、今を置いてできないことであると考えました。</p>
	<p>内容</p> <p>2002年発行の絵地図「宇津貫・片倉 むかし道」の制作過程で集まった資料や谷戸の姿やくらし、地元によくからお住まいの方からの、農業、山の仕事、暮らしの中の歳時記、水の話の聞き書き、他団体との調査記録、この地で生まれ育った方による書き綴りやイラスト、里山で見られた植物や水生動物などの内容を3部に整理編集し、1950年代と明治初期の宇津貫の絵図を差し込み、1冊の本として出版。</p>

事業の実績	<p>「みなみ野シティのルーツ 宇津貫・片倉 谷戸のくらし」というタイトルで、第1部 宇津貫町の地形と暮らし、第2部 谷戸を歩く、第3部 里山の出会い 別刷り1950年代の宇津貫町と明治初期の宇津貫村の絵図付きという内容で、A4版96ページを出版。発行部数は1,000部。</p>
	<p>2007年2月28日刷り上り後、国会図書館、八王子市役所と図書館、みなみ野周辺の市民センターや学校、地区内の町会及び支援団体、後援者へ寄贈(120冊)。くまざわ書店の協力で販売(194冊)。地元の人の繋がり、地区内の町会や会の活動のつながりを通して販売(411冊)。実績合計は2007年5月26日現在、725冊となっている。</p> <p>小学校の総合学習で資料として活用されたり、自然環境関係の展示物や学習会で引用されており、読者からも様々な感想が届いている。</p>



「谷戸のくらし」表紙



宇津貫歳時記「まゆ玉焼き」

事業の成果・効果	<p>みなみ野のルーツ、宇津貫町の谷戸でのゆたかな自然と調和した人々のくらしを時期的にもぎりぎりのところで記録し、まとめることができました。足りない部分もたくさんありますが、子どもたちや新しい街の人々に語り継ぐことのできる内容の1冊になりました。</p> <p>発行後間もないためはっきりとした成果・効果については言及できませんが、単にふるさとへの郷愁にとどまることなく、みなみ野の昔の記録の中に貫かれている「水やみどりや土を掘りどころにして育まれてきた人々のくらし」を辿ることによって、今分断されてしまっている自然と人との関係を考えて再構築していくひとつのきっかけになることを願っています。</p> <p>これからも普及活動に努めたいと思っています。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>.....</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>.....</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>.....</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>全てカラーページにしたこと、パソコン機種の違いで、変換作業が必要になったことなど。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>地元で長年暮らしてこられた方の実際の生活に基づくことばを大切にすることが内容の確かさを作り、読む人をひきつけることにも繋がっている。</p>

今後の事業展開	<p>具体的には、2007年八王子環境フェスティバル(6月9日)に東南部環境市民会議から出展されることや、由井第2小学校学校の創立120年記念誌に資料として活用されること、秋には東南部自然体験講座ではみなみ野をフィールドとするなどの企画があります。私たちの会としては、「谷戸のくらし」に記載の食文化などを若い方たちが地元の方から直接に教わることの出来る機会を作っていくこと、「宇津貫緑地の手入れ」には、多くの人に参加を呼びかけ、この地に伝わるやり方を継承しながら、いつまでも緑地が美しく守り続けられるような仕組みを作ること、このことによって、多摩丘陵の保全の一翼を担っていくこと、など、これからの街づくりや個々の生活を省みるひとつの手がかりとなるよう積極的に働きかけていきたいと思っています。</p>
---------	--

事業名	地域社会の活性化を図る講演会、趣味の作品展		
団体名	特定非営利活動法人 めじろむつみクラブ		
事業費	462,661円	補助金額	225,000円

事業の目的・内容	目的 高齢化率が市内でも特質化しているめじろ台地区において、地域の活性化を図り、高齢者においては生きがいを、また地域住民が連帯感を持てるよう講演会、趣味の作品展開催を企画した。
	内容 1. 講演会の開催 当初の計画では町会会館を会場に、高齢者に関心のある問題及び文化的な講演を年に2回行うべく計画した。 2. 趣味の作品展 絵画、手芸、工芸他趣味で制作している住民は多くいるが、中々発表の場も少なく、大それた展示会ではなく、周りの人に観て貰い、地域交流を深めたい、また自分自身が制作することに益々の生きがいを深めて行きたいとのニーズがあったため昨年に引き続き、地元マンションの集会室を利用して作品展を開くことにした。

事業の実績	<p>1. 講演会 - 1 講演会は2回実施を計画していたが、実施計画に当たり地元小学校、中学校、高校を交えたふれあいコンサート音読講演も含めた集いにしたら地域交流にもなるのではないかと市の担当部署に相談の結果、当初の基本計画に逸脱しないとの了承を得、下記要領で実施した。 開催タイトル：地域ふれあいコンサート in 梶田中 開催日時：平成18年9月9日(土) 14:00-16:30 開催場所：八王子市立梶田中学校体育館 参加者：梶田中学校、梶田小学校、緑が丘小学校、ゲスト出演・藤村女子校の約60人 聴講者：父兄、地元住民約300人 内容：最初に音読の効用について講師より説明、全員で音読の実践をした後、各学校毎の合唱、吹奏楽演奏を行い、最後は聴講者も含めた全員で合同演奏、合唱を行った。尚、同時開催としてスタッフ一員による写真展「世界遺産：(18か国の自然・遺跡)」を実施した。</p> <p>講演会 - 2 地域住民の身近な問題、話題性のあるものとして2回目の講演会は下記タイトルで実施した。 開催タイトル：「裁判員制度と最近の犯罪動向」 開催日時：平成19年3月4日(日) 10:00-12:00 開催場所：めじろ台町会第一会館 講師：佐藤一男氏(めじろ台在、元法務省勤務) 聴講者：32人 内容：2年後に実施される裁判員制度についての紹介(導入の理由、選ばれ方、裁判員制度の対象となる事件、裁判員の仕事と役割他、また成人や少年非行等犯罪の動向を分析して講演を行った。</p>
	<p>2. 趣味の作品展 制作者にとっては生きがいを、鑑賞者には身近な人の作品への驚き、感動を与え、交流の機会が広がる作品展を下記の通り実施した。 開催タイトル：第2回「趣味の作品展」 開催日時：平成18年11月18日(土)～19日(日) 9:00-17:00 開催場所：めじろ台駅前 ライオンズマンション集会室 出展者：50人 鑑賞者：301人(スタッフ、出展者含む) 内容：絵画、写真、書、絵手紙、ちぎり絵、俳句、短歌、刺繍、ぬいぐるみ、陶芸品、手芸品、木工芸品、パッチワーク、つるし雛、帆船模型、木彫り、木工品、きめこみ人形、折り紙、ビーズアクセサリー、絵皿等 総数88点</p>

事業の成果・効果	<p>1. 地域ふれあいコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサート後アンケートを実施したが有効回答者 113 人の 84%の方が大変良かったとの評価をした。 ・アンケート自由記述欄では、「大変楽しかった。」「素晴らしい演奏・合唱をありがとう。」「来年も是非やって欲しい」「地域の人と学校とのふれあいの場となる良い機会」等の記述があった。 ・学校で行った演奏者の反省文では年長者の演奏を聞き、今後練習への励みになったとの記述もあった。 ・演奏会当日は朝日新聞の取材があり、翌日朝刊の多摩版に記事が掲載された。 <p>以上地域住民、出演の生徒、父兄達、また学校の先生方にも喜んで頂き、地域交流の目的が十分に達成されたと思われる。</p> <p>2. 講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の「裁判員制度と最近の犯罪動向」については、住民一人一人にとって身近な問題であるが、制度の実施については、まだ 2 年先との考えなのか参加者の関心はいまひとつで参加者数は 32 人と少なかったが中には熱心にメモを取る人もあり、多少の成果は得られたと思う。 <p>3. 趣味の作品展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は出展者 50 人と 1 回目の 43 人に比べ増加、作品も 78 点から 88 点と増加した。 ・出展者、来場者の反響は「来年は是非出品したい。」「来年も開催して欲しい。」「習いたいのので作者を紹介して欲しい。」「孫も子どもも来てくれて尊敬された。」「あの作品が欲しい」等々の声が聞こえた。 ・展示場の 1 画にスタッフの一員が所有していた昔のめじろ台の航空写真と現在の写真を展示したが大好評であった。 <p>制作者にとっては自分の作品を観て貰えること、又作品を通して感動や連帯を、特に高齢の作者には生きがいと喜びを与えられたのではないかと思う。</p> <p>全体を通して、スタッフには自分の得意な分野を生かし、わずかな報酬ではあるが作業への参加をして頂いた事は皆に喜ばれる仕事をしたと言う点でスタッフ本人自身にとっても生きがいになったことと思われる。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) ・講演会の内、1 回目は小、中、高校生によるふれあいコンサートを行ったため予定外の費用が掛かったが全体的には費用の増大は抑えることが出来た。 ・当初計画予算と実施については極端な差は無かったが項目別に見るとかなりの変動があり、今後予算を立てる時の反省としたい。
	その他、評価すべき点等	地域での我々「NPO 法人 めじろむつみクラブ」の活動が認知されつつあり、会員数も増えてきた。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会については住民のニーズを良く汲み取り、参加者にとって有意義な講演会となるようテーマを求めて開催して行きたい。 ・作品展については地域交流の中で今後も作者を発掘し、制作者、鑑賞者共々喜ばれる展示会にさせて行くと同時に、今後は補助金に頼らずに運営出来るよう収支面についても研究して行きたい。
---------	--



事業名	おわら風の盆 in 八王子		
団体名	八王子「おわら風の盆」の会		
事業費	3,634,132円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>地域文化の創造と継承を探り、観光振興を目指し、地域活性を計り、八王子のイメージの高揚を生み出すために「おわら風の盆 in 八王子」事業の実施をした。</p>
	<p>内容</p> <p>富山県八尾より本場のおわら風の盆を、八王子市民方々は許より他市・他県の方々にも伝統文化を楽しんでいただく。市在住のおわら踊り研究会の花乃実会・武州越中おわら風の盆愛好会・越中おわら節を楽しく会や八王子中町芸者衆の流し踊りを行う。また、一般市民に本場八尾の方々による踊りの指導や、流しには一般市民の方々に参加を戴く。</p>

事業の実績	<p>開催日時：平成 18 年 9 月 16 日 土曜 午後 4 時から午後 9 時 30 分</p> <p>本場富山県八尾緑町の町民の方々が踊り手・地方で総勢 19 名の参加。 輪踊り会場は、横山町公園・中町公園・三崎町公園・三和会商店特設会場・ユーロード旭町地区の 5 会場。公演は各会場で 1 回横山町公園では 2 回公演を行い計 6 回行う。 流し踊りは、二連の流し踊りを行うことが出来た。踊り手はおわら踊り研究会の花乃実会・越中おわら節を楽しく会の踊り手や八王子中町芸者衆が参加し優美な踊りを披露した。 今年は流し踊りに一般市民の方々も参加。 また、地方の方々は、武州越中おわら風の盆愛好会・越中おわら節を楽しむ会の方々が演奏し心に沁みる演奏に聞き手は酔いしれた。 最後には、中町公園で輪踊りの八尾緑町衆と流し踊り衆方々との共演をすることができ一段と盛り上がり花を添えた。 八王子市老人クラブ連合会に 50 人の招待席を用意した。</p>



事業の成果・効果	<p>本年は天候が不順だったために開催も危ぶまれたが、当日は何とか天候に恵まれ開催をすることができた。事前のPR活動(市の広報・ショッパー・横断幕の飾り付け・ポスター掲示・チラシ配布等)を行うことにより、事務局には、多いと時は1日80件以上の問合せが何日も続いた。(自分たちも踊れるの・八尾から何人来るのか・会場・時間等々)</p> <p>輪踊りでは、本場富山県八尾緑町の町民の方々による公演を横山町公園・中町公園・三崎町公園・三和会商店特設会場・ユーロード旭町地区の5会場で行った。各会場で一般市民に踊りの動作の解説や指導を行う。各会場では賛同を戴ける方々に、募金のお願いをおこなった。これにより市民一人々々が自分たちの力で、支える気持ちが芽生えたと感じた。また流し踊り会場では、浴衣を着た一般参加の市民が加わった。特に今年は八王子伝統伎芸の中町芸者衆が参加したことで一段と花を添え地域文化への浸透をはかる一歩とし、市民参加の創造と継承を探り出す一助となった。</p> <p>輪踊り会場は、開演17時であるにも関わらず16時過ぎには300人の観衆が集まり、開演時間には500人を超える人だった。全ての会場で開演前に300人以上の観衆が集まっており、機材などを回しまわして使って居るので搬入が大変だった。出演者の待機場所までが観客席となった。</p> <p>流し踊り会場では、やはり歩道にも2重3重の人垣が出来、1,000人以上のギャラリーが今か今かと演奏を待ち望んでいた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>なかなか本場に行けないお年寄りの方々が、八王子おわら風の盆を觀賞できた。中町芸者衆の踊りが満喫でき多くの方々が写真を取っていた。観客からスタッフに夕飯を食べたいがこの辺で美味しい店を教えてと声をかけられた。</p>

今後の事業展開	<p>八王子市と八尾町は、産業(織物)や地勢的環境や伝統伎芸の芸者衆が存在するなど類似しており、そうした風土の中で培かわれ伝承されてきたおわら風の盆。新たな地域文化の創造と継承を作り出す市民企画として始まった。これから大きく育くむために、公な組織強化を計る必要があり、風の盆実行委員会と運営委員会を分け、経済的基盤の強化と運営面や安全強化を計る組織作りが必要と思う。</p>
---------	---

事業名	パソコン・インターネット市民講座		
団体名	情報ボランティアの会（八王子）		
事業費	131,117円	補助金額	65,000円

事業の目的・内容	目的 当会では1997年の発足以降今日まで、当会は30回以上の「市民講座」を開催してきている。今回の事業では、この市民講座を引き継ぎ、その時々パソコンとインターネットに関する新しい情報や正しい知識を一般の市民に伝え、このことを通じて、草の根レベルでのパソコンとインターネットの普及を目指している。
	内容 当事業の講座では、当会の会員を講師とし、主としてクリエイトホールの視聴覚室を会場として、座学の形式で、その時々パソコンやインターネットのトピックなテーマを扱い、パソコンとインターネットに関する新たな情報や正しい知識を市民に提供することを内容としている。

事業の実績	今年度は、合計3回のパソコンとインターネット市民講座を開催した。 2006年5月27日(土)「デジカメでムービー 選び方～簡単編集」 クリエイトホール視聴覚室 午後1時30分～3時30分 来場者 32名
	2006年11月12日(日)「インターネット検索のいろいろ」 クリエイトホール視聴覚室 午前10～12時 来場者 47名
	2007年3月11日(日)午後2時～4時 「無料インターネットスカイプ」 クリエイトホール視聴覚室 来場者 25名



盛況の講座の様子

市民講座案内のポスター

事業の成果・効果	<p>まず最初に個々の講座の内容について見てきたい。「デジカメでムービー」は、現在販売されている多くのデジカメにおいて搭載されている「ムービー（動画）」機能に着目し、デジカメの選び方、動画の撮り方、さらに簡単な編集まで、基本的な点を中心にした内容の講座を開催した。従来のデジカメの使用方法から一歩踏み込み、新たな機能について市民に知ってもらうことができたと思われる。</p> <p>「インターネット検索のいろいろ」では、インターネット上の代表的な検索用のホームページである「Yahoo!Japan」と「Google」に関して、単なる検索ばかりでなく、それぞれのホームページが備えているさまざまな機能に関する内容の講座を開催した。検索用のホームページは通常使用されているものではあるが、そのさまざまな機能については、十分に知られていないことが多く、このような情報を市民に提供してきたことは有意義であったと考えられる。</p> <p>「無料IP電話スカイプ！」では、現在一部で使用し始められている無料のテレビ電話機能を持つ「スカイプ」というインターネット上のサービスについての基本的な解説ならびにその使用方法についての講座を開催した。このサービスはまだよく知られていないものの、今後市民の間に広まる可能性が高く、このような新しいサービスに関して、正しい知識を市民に知ってもらったことは意義のあったことと考えられる。</p> <p>このように今年度の事業では、主としてパソコン、インターネットに関する新しい知識を中心に、市民に正しく伝えることができたのではないかと考えている。今後も継続してこのような講座を開催していきたいと考えている。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 実施計画よりも、実際の支出は約1万円少なかった。これは当初考えていたカラー印刷による資料印刷が予想外に高価だったため、従来通り白黒の印刷にしたことが主な理由である。
	その他、評価すべき点等	この事業は当会の発足以来継続して開催している事業である。このような長い間継続して事業を行っていくことができるのは、講座の趣旨が市民に賛同されているためだと考えられる。

今後の事業展開	<p>今後も、年2回ないし3回の市民講座を開催していく予定である。なお、今後は実際にパソコンの機器も使用した形での講座の可能性も探していきたい。</p>
---------	--

事業名	四季の植物誌～親子で学ぶ自然観察～		
団体名	四季の植物誌の会		
事業費	308,089円	補助金額	150,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親と子が共通の時間と目的を持ち、同じ時間の中で共に学ぶ 2. 四季の移り変わりを身近な植物を通し、解り易く解説することで、理解する 3. 市内の住宅地に隣接した地区に位置した「八王子セミナーハウス」の20,000坪の自然の中で、草木、昆虫にじかに手で触れ楽しむ
	<p>内容</p> <p>通年4回（春・夏・秋・冬）開催。四季折々の植物を親子で観察する講座である。小学生を中心に幼稚園生までの親子祖父母と孫を対象に行われる。講義とフィールドワーク、まとめの発表と3部構成、講師は東京女子大学名誉教授福田先生で、座学はその季節にあった植物の話の聞き、その後里山にて、解説を聞きながら観察と採取、終了後、教室にて親子で観察のまとめや、採取したものなどで創作作業等を行い、まとめる。最後は各自完成したものを発表し、先生からコメントを頂く。</p>

<p>18年度事業計画として、4月（春編）8月（夏編）11月（秋編）2月（冬編）と年4回を計画し、実施も計画通り4回の開催ができた。</p> <p>当会は平成17年度春より実施してきたが、18年度は2期目の開催である。また、今年度は市民企画事業の補助金交付対象事業となり、それを受けた事で市広報、市HP、市民活動支援センターの広報誌等で広く紹介していただいた事、更に会としての信頼度が上がった効果で前年度より3割以上、参加者が増えた。また、17年度の1期目の参加者は、八王子セミナーハウス近隣の小学生（高嶺、中山、柚木中央、上柚木、長沼等）、幼稚園児（おさひめ幼稚園）がほとんどであったが、18年度2期目は、市内広範囲の小学生（恩方第二、檜原、横山第一、愛宕、陶鎔等）の参加があった。また、新聞等広範囲にわたる広報手段も活用した結果、市外地域（23区内、町田、府中、川崎）からの参加者もあった。</p> <p>参加者からは市街地に近いところに自然豊かな里山があった事を知り驚きと嬉しさを感じてもらえた。また、多くの参加者は、親子で共に過ごし、普段何気ない植物のエピソードを聞き、たいへんたのしかった、良かったとの声が多かった。</p> <p>講義内容も新鮮に感じてもらえ、フィールドワークも好評で、多くの参加者は四季のすばらしさを肌で触れ、感じ、親子で里山を歩く楽しさを実感できた。更に日本の自然のすばらしさを認識してもらえることができた。</p> <p>また、八王子セミナーハウスの留学生会館に住んでいる留学生の参加もあり国際交流の場にもなった。</p>
--



平成18年8月 四季の植物誌 夏編 講義風景



同じく夏編 フィールドワーク風景

平成 18 年度四季の植物誌参加者実績表							
事業の成果・効果	実施日	テーマ	子ども	大人	ゲスト	計	
	春	4月9日	見つけよう、春の花	9	11	8	28
	夏	8月6日	探検しようよ夏の森	43	55	11	1
	秋	11月26日	落葉と遊ぼう！	32	28	5	65
	冬	2月4日	春を探そう！	12	10	8	30
	小計			96	104	32	
合計						232	

*ゲストは留学生

自己評価	事業は申請どおり実施できた	できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 印刷用インク代を活動費として計上していたが、他の仕事で使用するプリンターのため、都度の交換等、管理等が煩雑となるため、プリントに関し1枚いくらずつ枚数をカウントして金額を出し処理した。 会費を当初、親1,000円/人、子ども500円/人と設定したが、できる限り通年とおしての参加を期待し、また両親、兄弟と多くの参加機会を設けるため、会費を親700円/人、子ども300円/人に減額変更した。
	その他、評価すべき点等	講義では日本固有の自然のすばらしさを認識できた。植物がどのように日本に入ってきたか、その植物の由来など今まで何気なく見ていた植物が身近なものになった。留学生が参加する事で、その国の植物の話をしていただいたり、また国際交流の場が持てた。 身近な場所に自然豊かな里山(八王子セミナーハウス)があることを知ってもらえた。

今後の事業展開	講義では遺伝学の分野の話も子供向けにあったが、参加した親の方からは、今まで聞く事のなかった話で、非常に興味深く、勉強になったとお話があり、今後この「四季の植物誌」を大人向けに形を変えて講座を検討してみたい。
---------	---

事業名	学校図書館支援事業		
団体名	八王子に学校図書館を育てる会		
事業費	337,030円	補助金額	96,000円

事業の目的・内容	目的 学校図書館支援のためのボランティアが求める『学びの場』『交流の場』を設定することで、ボランティア自身の資質向上と、学校図書館のあるべき姿を自覚する場を提供する。育てる会が要となり、市教委と連携しながら子どもたちの読書環境、ひいては教育環境の向上に努めることを目的とする。
	内容 1. 講座（読み聞かせ・ブックトーク・製本、著作権について、出張修理講座など） 2. 講演会（児童文学作家 たつみや章さんを迎えて） 3. 市内小・中学校の学校図書館見学会（貸し切りバスで） 4. ボランティア交流会（2回） 5. 市内学校図書館実態調査アンケート実施 6. すべての事業は定例会において会員全員で企画、準備した

事業の実績	7月 4日（火） 南大沢市民センターにて ボランティア交流会（参加 15名） 7月 12日（水） 中央図書館にて ボランティア交流会（参加 15名） 6月～7月 市内全小・中学校対象、実態調査アンケート実施 8月 26日（土） 中央図書館にて 講座 1：読み聞かせ 講座 2：著作権について 27日（日） 中央図書館にて 講座 3：ブックトーク 講座 4：製本（講座各回 2～30名） 11月 2日（木） 市内学校図書館見学会（大和田小学校・中山中学校、参加 15名） 11月 26日（日） 労政会館にて 講演会（講師：たつみや章さん、参加 40名） 4月～2月 随時 出張修理講座実施（15回、参加 131名）
	参加人数のべ 265名



八王子市立大和田小学校見学の様子



たつみや章さん講演会（労政会館）

事業の成果・効果	<p>講座、講演会、見学会、いずれもリピーターの参加が増えており、本会の事業内容が期待されていることを実感する。とくにボランティア交流会や出張修理講座での意見交換によって、各学校での実態やボランティアの抱える悩みなどがよりはっきりしてきている。現場では蔵書の不足や教員が多忙であるため図書室の活用が十分できないという悩みを抱えており、そういう状況の中でボランティアには何ができて何ができないか、ということをやより明確にしていく必要性が明らかになってきた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>出張修理講座が年度当初の計画よりも申し込みが多く、その分収入が増えたので、事務用品などの購入に充てることができた。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>出張講座では、校長先生の声かけで要請があったり、講座には夏休みということもあり先生方の参加もある。少しずつだが学校関係者への広がりが出てきた。アンケートや交流会も効果があったと思う。</p>

今後の事業展開	<p>広く市民全体の問題として提起することを心がけてきたが、学校関係へのPRに偏りもあったと思う。今後は『市民』へのPRによって、子どもの読書、学習について大人が共に考える機会を作るようにしたい。今年度は幸い黒字となったが、自立運営のために教育委員会からボランティア研修の委託を受けることができればと思っている。</p>
---------	--

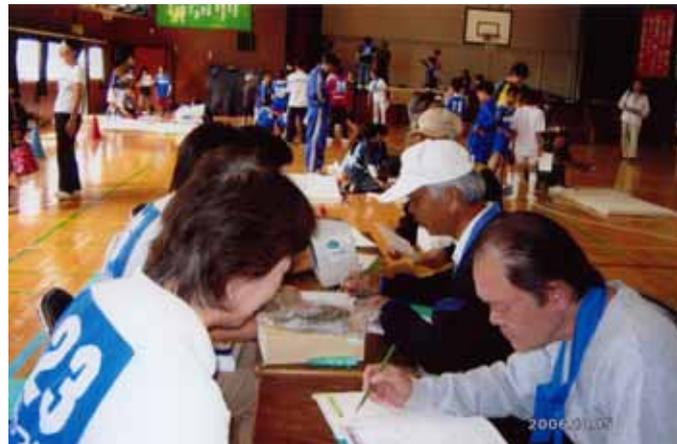
事業名	介護予防のまちづくりで高齢者と地域を元気にする		
団体名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ		
事業費	1,599,523円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	目的 高齢者が地域の活動に主体的に参加し、生きがいを持つ事で、介護の重度化を予防し元気に暮らしていける事を目的とします。
	内容 1 介護予防現任研修 2 介護予防サポーター研修 3 おたっしゃ21 健診 4 高齢者の生きがい活動地域支え合い活動の支援

事業の実績	1 介護予防現任研修 （ヘルパーさん介護者のレベルアップ講習会） 実施日 2007.2.18(日)、2.25(日) 2 介護予防サポーター講座 実施日 2006.10.31、11.1、11.7、11.14 3 中高年の介護予防講座 実施日 2006.7.7、7.11、7.14、7.18 4 おたっしゃ21 健診 実施日 2006.10.15、2007.3.17 5 高齢者の生きがい活動、地域支え合い活動の支援 ・料理教室 実施日 2006.4.22、5.13 ・絵手紙、セラバンド教室 月1回～2回
-------	--



セラバンド体操風景



おたっしゃ21 健診風景

事業の成果・効果	<p>昨年に続いての事業で介護予防とは？地域の支え合いの必要性は時の問題でもあり関心が出てきた様に感じる。セラバンド体操、絵手紙教室は、一年間活動して、また今後も続けたいとの希望で、金銭的には厳しいが確実に成果はあったと感じる。</p> <p>事業参加者数 1. 6名 2. 8名 3. 15名 4. 32名 5. 絵手紙・料理教室 117名、セラバンド教室 89名</p> <p>介護予防講座は現任研修の参加者が少なかったため、地域リーダーとしての担い手のサポーター研修を急遽計画して実施した。参加者は意欲的で充実した内容に、これからの生活に取り入れていくとの事でよい企画になった。生きがい活動は参加者が固定される傾向であったが、1年を通じて着実に実力がつき、ますます興味の範囲を広げていることに成果が見て取れます。特にセラバンド教室は、他にリラクセス法、転倒予防も行っている。筋力保持、外出の機会の提供になり、積極的な方は友人を誘って参加している。今後介護予防はまだまだ地域参加型とはなっていないので、地区での開催を継続していきたい。</p> <p>事業費用の実績については、2年目の事業だったため、資金を有効活用するため講座の回数を増やしたり、広告宣伝も範囲を八王子東南部まで広げて、ポスター・チラシを直接届けたり、地区集会や行事に参加させてもらって配付したため、当初の計画とに差異が生じた。効果は大きかったと思う。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 1. 講座の回数を増やした。 2. 広告宣伝を多様化した。
	その他、評価すべき点等	参加者の意識が高まっている事が回を重ねる毎に伝わった。

今後の事業展開	<p>絵手紙、料理、セラバンド教室は、継続しています。</p> <p>町会や老人クラブの行事に参加し、事業所の地域の人々と希望される事業を進めて行きたいと思えます。</p>
---------	--

事業名	第2回八王子まちかど・まちなみコンテストの開催		
団体名	特定非営利活動法人 らいふ舎		
事業費	1,804,224円	補助金額	562,000円

事業の目的・内容	目的	市民にとって身近にある町の景観で好きな場所、気になるもの、いろいろな行事などを写真・絵・文章などで市民にレポートしてもらう。 レポートの募集は公募の形をとる その成果を審査し、発表会、展示会を開催する。
	内容	市内の良いところ（景観、行事等）を見つけ、幅広く市民に知ってもらう。 市民の景観に対する意識を高める一助とする。

事業の実績	平成18年6月	八王子市、八王子市教育委員会、八王子市民活動協議会の後援を取得
	平成18年7月	ポスター、チラシ作成、公募開始
		公共施設、市民センター、大学、高校、中学、小学校等へ、チラシ、ポスター配布
		八王子市民活動支援センターHP、八王子市民活動推進部 HP 掲載
	11月30日	応募締め切り
	11月	審査会準備、応募作品整理
	平成19年3月9日	審査会実施（審査員6名:多摩美術大学助教授、市の関係部署3名、八王子市民活動協議会理事長、NPO法人らいふ舎理事長） 本事業は市との協働を念頭に実施しているため、市関係部署である都市計画室、郷土資料館の職員の方々に審査員をお願いした。 【受賞内容】 グランプリ（大人の部）1作品、 グランプリ（こどもの部）1作品、 準グランプリ（大人の部）2作品、 準グランプリ（こどもの部）1作品、 審査員賞15作品（春うらら賞、荘厳賞、野菜を食べま賞など）
	平成19年3月21日～3月31日	作品展示会開催【高尾の森わくわくビレッジ ロビー】 3月24日表彰式開催 応募総数148作品のうち、入賞作品を展示した。HPに入選作品を掲載。 4月以降も引き続き、八王子市役所等で展示会を予定。



事業の成果・効果	<p>コンテストを通して、市民が八王子の景観や行事、まちづくりに関心を持つきっかけとなった。市民が郷土八王子のすばらしさを再考するきっかけとなった。</p> <p>作品応募者や、展示会訪問者など、八王子のまちに関心のある市民との交流の足がかりとなった。行政担当者や専門家との協働により、地域の景観について、共通の認識を持つことができた。今回は、子どもの作品が多かった。子どもの時にまちを歩き、関心を持つことの意義は大きいと思う。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p> 広報等や直接訪問して作品の受け渡しにより、交通費がかかってしまった。作品の整理や展示作業等で、アルバイトによる作業費が多かった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p> 他の助成金に応募したが、助成を受けることができなかった。企業の協賛金をいただいた点は良かった。</p>

今後の事業展開	<p>市役所ロビー等で作品を展示したいと考えている。</p> <p>ホームページも整理して、より多くの市民に作品を見ていただきたい。</p> <p>今回の情報を、今後のまちづくりに役立てるよう活動して行きたい。</p>
---------	---

事業名	『わくわく子ども発明塾』		
団体名	特定非営利活動法人 発明協会		
事業費	551,766円	補助金額	160,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>社会的不安や閉塞感が指摘されている今日にあって、“新しいものを生み出す、創り出す”という創造力や、活気ある市民活動がもたらす活力が、社会の活性化、健全化という面において非常に有効であると考えます。本企画は、将来の我が国を担う子どもたちが、もの創りを通じ、生き生きと活気ある、心豊かな人生を送るための一助となることを目的とするものである。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人ひとりの自由な発想を計画的、段階的にかたちにして、“新しいものを創る”という楽しさや喜び、大切さを実感してもらうとともに多くの仲間たちと出会う機会や環境を提供する。 その活動の中から生まれた成果物（創作品）を対外的に展示発表することで、活動の意義や達成感を感じてもらう。

事業の実績	<p>『わくわく子ども発明塾』活動実績～テーマにしたがって創作活動を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年7月29日(土)～【開講ガイダンス】『わくわく子ども発明塾』“スタート” 8月2日(水)～【発想力を鍛えよう！どんなものを創りたい？】 8月3日(木)～【参考になるアイデアの紹介！どんなものがあるんだろう？】 8月7日(月)～【オンリー・ワンの発明に挑戦！個性を活かして創作開始】 8月8日(火)～【自分のペースで完成を目指そう！人の意見も参考に・・・】 8月14日(月)～【ほかの目的にも応用できないかな？】 8月15日(火)～【個々の作品について意見交換をしよう！】 8月21日(月)～【創作品の完成を目指す！ネーミングも考えてみよう！】 8月22日(火)～【創作品の完成！ネーミングの完成！】 8月28日(月)～【創作品の完成～改良！より素晴らしいものへ挑戦！】 8月29日(火)～【 ” 】 9月9日(土)、10月7日(土)～【発表展示会へ向けての準備】 12月23日(土)～【認定証書授与式】【以後 創作物の発展性の研究 まとめ 等】 <p>成果物（創作品）発表展示企画</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月3日(金)、4日(土)～【八王子市役所文化祭参加】 11月18日(土)、19日(日)～【第27回八王子いちょう祭り参加】 など



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人ひとりが、自分の自由な発想を練り上げ、工夫をし、改良を重ねながら作品を完成させることができた。 “新しいものを創る”ということへの興味、喜びを実感することができた。 いろいろな人たちと関わり合いながら活動することで、協調性や思いやりの心を学んだと同時に、自主性(自ら考え、自ら行動しなければならないということ)を養うという役目も果たせたように思う。 子どもたちも回を重ねることにより好奇心を深め、自分の発想や考えがたちになり改良されていく喜びを嬉しそうに話す場面が多く見られるようになった。 多くの、“ものづくり”に興味のある人たちと出会い、親しく話をする機会に恵まれた。 参加者の家族をはじめ、展示会などで出会った多くの人たちからも、活動に対する応援を頂くことができ、今後の活動への期待の大きさを実感することができた。 昨年の実績を踏まえ、新たに児童館などとのつながりも築くことができた。 この企画で獲得したいろいろな情報を検討すると、今後地元事業所などとの連携も視野に入れた発展的事業展開が大いに期待できると思われる。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>保険料を掛けることとしたため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>活動に対する問い合わせなど市民の反応、反響も大きくこの種の企画の必要性を実感した。今後、活動によって得た情報を参考に市民の要望を採り入れた企画なども検討してみたいと思う。</p>

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 今回の活動を通じて得た貴重な情報、人的ネットワークなどを今後の事業展開に活かしていきたい。 “物創り”という観点から、地元の事業所などとも関係を深め、地元経済・産業の活性化の一翼を担うべく活動したい。 財政的な自立を目指し、新たな事業展開や協力者、協力団体などとの関係強化など、財政的、人材的基盤の充実を図っていきたい。 行政との連携についても、社会的影響力及び効果が大きいと思われ、自らの活動意義を高めるためにも必要性、可能性があれば今後も積極的に協力関係を築いていきたいと考える。
---------	---

事業名	長池こどもの居場所作りの会		
団体名	長池こどもの居場所作りの会		
事業費	349,595円	補助金額	116,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>地域に児童館の様な、放課後に子供たちが自由に利用できる公的な施設がない。そこで地域の自治会館（ハーモニーホール）を利用し、小学生から中学生の子供たちを対象に、放課後誰でも自由に利用できる居場所の提供や地域のイベントへの子供たちの参加をサポートする。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長池地区（いかなる地域でも）の小学生～中学生の子どもたちを対象に放課後、自由に利用できる居場所の提供。 ・ ぼんぼこ祭りへの参加。 ・ 自治会、文化祭への参加。

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週水・金の週2回、年間約80回行われた。 ・ 水曜日は平均35人位、金曜日は20人位の利用があった。 ・ 8月に地域のおまつり、「ぼんぼこ祭り」に参加。運営資金の一部を調達すると共に、子ども達のお祭への参加のサポートをした。 ・ 11月地域自治会の文化祭に参加し、バザーをした。 ・ 1月地域自治会の「もちつき大会」に協力した。
-------	---



「楽しく遊ぶある日の～居場所～」

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年目を迎えましたが、1年目とほぼ変わらず実施することができました。 ・ 毎回来る子、初めて来る子など様々に利用しています。 ・ (静)の部屋では、主にゲームをしている子供が多いですが、その中でも大人には見えにくいですが、多少、またはほどに接している様です。 ・ (動)のホールでは、キャンディーボールのみ使用して主にドッチボールが盛んに行われています。余りグループが増えてしまうと大人が出て行って話し合いをさせます。低学年が高学年に話をし、上手くいった時など、意外な展開に目を見はり、自信を持つ様子を見かける事もありました。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	

今後の事業展開	<p>ボランティアが減っていく中、できるだけ長く毎週2回を続けていく事が課題になりつつあります。日常の「居場所」の中で時々例えば、チャイルド・クッキングの様なお楽しみもしていきたいと思っています。</p>
---------	--

事業名	学園都市八王子のおみやげを研究しよう！！		
団体名	八王子学生郷土さがし隊！！		
事業費	1,874,360円	補助金額	320,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>昨年度は、おみやげを研究するという広義的な概念での事業展開だったが、学園都市の特色を活かした具体的な事業を実施するための調査・研究も進めてきた。次年度は、学園都市には毎年全国から受験生がやってくる。現役の学生として応援企画を実施し、激励したい。前年度に試作した合格鉛筆を商品化したいと考えている。ほとんどの鉛筆は、六角か丸形の形をしているが、五角形のものを採択した。合格と五角をかけている。また、高尾駅から望める文神菅原道真の銅像に敬愛を示し、学園都市の象徴としていきたい、オリジナルキャラクターみちざねくんを活動で使用している。合格鉛筆のお披露目事業も企画している。</p>
	<p>内容</p> <p>学園都市の特色として、受験生を応援する現役学生企画を行う。 多くの人が集まるイベントに積極的に参加し、交流し、情報発信を行う。</p>

事業の実績	<p>八王子学生委員会主催 学生天国 に展示協力をした。 学園都市連絡会と連携により市域24大学等の学園祭等で合格鉛筆の配布を実施した。 合格応援グッズの製作し販売を行った。 みちざねくん。お披露目会を開催した。</p>
-------	--



パン販売など（お披露目会にて）



上：合格絵馬

下：合格（五角）えんぴつ・お札

事業の成果・効果	<p>合格グッズの製作・販売を中心においた活動であったと願う。</p> <p>学園祭MAPを発行している学園都市連絡会との連携により、各学園祭等で配布の協力をいただいた。実際に学園祭によって、工夫を凝らすなどの報告を受けた。大学関係者からも、評価及びアドバイスをいただき、今後に向けて益々の連携の必要性を感じた。</p> <p>お披露目会では、拓殖大学 文化局連合会の全面的なご協力によって、パフォーマンス団体の参加を得た。天候が芳しくなかったこともあり観客は少なかったものの、今後も続けてね！という感想を後にいただいた。一番良かったのは、拓殖大学学生支援愛好会が雨の中、応援をしている光景を見ていた市民の方が、感激の涙を流していらしたことであった。</p> <p>お披露目会でも、パン屋さんのご協力により合格カツサンドや梅のアンパンの販売を行った。鉛筆を求めている方も10%程度おり、広報活動の必要性を強く感じた。合格絵馬もストラップとして使えるため、気軽に購入いただけた。高校生よりも、小学校受験、中学受験のためにいらした親族の方が多かった。絵馬等のグッズの販売を高尾名店会 喫茶 オルムの協力によって販売を行った。朝日新聞の取材の影響で、多摩地域全般から足を運んでいただいた。合格の報告に来てくださるなどの交流もあった。菅原道真公の銅像にも足を運んでくださることもあり、活動の意味を改めて考える機会を頂いた。</p>	
自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p>	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
自己評価	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p>	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
自己評価	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p>	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>当初よりも事業を拡大したため。</p>
自己評価	<p>その他、評価すべき点等</p>	
今後の事業展開	<p>鉛筆や絵馬以外の新たな合格グッズの販売や合格グッズの販売場所増設を行いたい。教育機関等との連携を深め、相乗効果を出していきたい。</p>	

事業名	八王子アマチュア映像祭		
団体名	八王子アマチュア映像協会		
事業費	195,474円	補助金額	64,000円

事業の目的・内容	目的 アマチュア映像制作の知識及び技術の普及を図り映像祭を通じて地域の映像文化発展に貢献します。
	内容 家庭へのビデオカメラの普及は著しいものが有るが、撮りっぱなしで編集などせず、人様に見せられる映像になっていないのが実情である。このような観点から一般市民への 初心者ビデオ講座の実施 ビデオ講座成果の発表の場「八王子アマチュア映像祭」の開催を行います。

事業の実績	<p>会員全員（38名）の参画で講習テキストを作成し、市民在住の方を対象に「初心者のためのビデオ映像技術アップ講座」を前期（ビデオカメラでの撮影）後期（パソコンでの編集）に分け、4月から11月まで連続8ヶ月、中央公民館にて実施しました。</p> <p>さらに、ビデオ講座の成果発表の場として「八王子アマチュア映像祭」を会員スタッフの役割分担、スケジュールに基づき、11月23日にクリエイトホールにて、事業計画通り実施しました。</p>
-------	---



会場風景

事業の成果・効果	<p>「初心者のためのビデオ映像技術アップ講座」は前期（ビデオカメラでの撮影）で 20 名、後期（パソコンでの編集）で 17 名の受講があり、8 ヶ月（全 16 回）に渉る講習にも係わらず、13 名の受講生が映像作品をまとめる事が出来ました。</p> <p>また、映像制作技術が市の生涯学習として有益である事を位置づけました。</p> <p>「八王子アマチュア映像祭」は昨年同様、クリエイトホールの大会場にもかかわらず 広報・八王子市HP（市民活動推進部情報コーナー）等のPRが功を奏し、入場者数 260 名と昨年の実績を 10%以上増加しました。</p> <p>市民はもとより市長をはじめ行政側、首都圏のアマチュア映像団体の来場者からも 称賛の声が寄せられ、目的とする「手作り映像」の楽しさを広く普及させる事が出来 ました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p>
	その他、評価すべき点等	<p>ビデオカメラの撮影、パソコンでの編集、映像作品の制作、そして大スクリーン映写の映像祭迄の一貫指導は当会の蓄積された映像技術ノウハウと自負しています。当事業の半年に渉る「初心者のためのビデオ映像技術アップ講座」と「八王子アマチュア映像祭」は、一般市民へのアマチュア映像文化の普及の基礎を築きつつあると評価しています。</p>

今後の事業展開	<p>八王子アマチュア映像祭へ鑑賞に来てくれるリピーターもお陰で増え、定着しつつあるとの感触を持っており、地域文化活性化の兆しがあります。</p> <p>映像を通して豊かな文化行政の構築に貢献するため、引き続き事業継続を進めます。</p>
---------	---

事業名	COOL DESIGN CONTEST		
団体名	八王子商店研究会		
事業費	954,976円	補助金額	184,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 八王子市の潜在的なデザイン力を発掘・向上するために、コンテストにより、「才能のある隠れたデザイナー」を発掘・支援し、デザイナーの登竜門としての役割を担う。 八王子の街並みに市民によるアート作品をあふれさせることで、市民が参加意識を持って、親しみがあり、デザインセンスにあふれる街並みを実現する。 商業広告に多種多様で本格的で先進的なデザインの導入事例を提示し、参加店舗およびその近隣店舗の広告宣伝のレベルアップを図り、ひいては八王子市の商業をはじめとする産業のイメージアップを図る。
	<p>内容</p> <p>八王子のデザインセンスの優れた学生や市民から広くグラフィックデザインを募集し、当会会員により選考するデザインコンテストを実施する。入選作品を当会会員などの個店の店頭で活用し、デザインセンスのある街並みづくりを提唱するとともに優秀なデザイナーの登竜門としての役割を担う。当会では、ポストカード、看板、ホームページなど先進的な広告ツールを使って、コンテストの入選作品を広くPRし、「デザインのまち八王子」の実現により八王子の産業全体のデザイン力の向上に貢献する。</p>

事業の実績	募集期間	平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日	
	参加クライアント	17 件（会員 12 件 会員外 5 件）	
	応募作品数（入選数）	592 点（最優秀賞 1 点、優秀賞 5 点、CD 賞 16 点）	
	審査選考会	平成 18 年 11 月 15 日（火）	学園都市センター
	表彰式（新年会同時開催）	平成 19 年 1 月 23 日（火）	八王子エルシイ
作品活用広告媒体製作	12 点		



「作品審査会の様子」



「表彰式の様子」

事業の成果・効果	<ol style="list-style-type: none"> 市内大学等に対し幅広く告知することで、商業と市民・学生の連携による活動をアピールすることができ、昨年以上の応募があった。 応募要綱を具体的に示し、各クライアントの募集イメージを提示したことにより、実用が実現しやすいデザインが多く集まった。 入賞作品を活用し、店頭での販促用品や広告メディアとして実際に実用を始めている。 作品に応募していただいた方との交流ができ、デザイナーとの情報交換ができた。またその後の店頭へのデザインの仕事で、パートナーシップが生まれた。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>良い作品が多かった為、媒体の製作点数が予想を上回った。コンテストが成功した証しである、と良い評価ができる。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>採用された作品は確実にレベルが上がっており、広告ツールとして充分の品質がある。</p> <p>クライアント側も募集に際し、自店のイメージをまとめることで、自店の魅力や短所、アピールポイントを自覚できるようになった。</p>

今後の事業展開	<p>昨年度同様、具体的なイメージを提示して作品を募集する。</p> <p>会員外の商業者にも幅広く参加を呼びかける。</p> <p>作品を活用した広告ツールを、市民の目に触れるように配布、設置できるよう市にも協力を仰ぐ。</p> <p>シャッターペイントなど、街の景観に対しても活用の幅を広めていく。</p>
---------	---

事業名	NPO法人 子どもネット“八王子”子育て支援事業		
団体名	特定非営利活動法人 子どもネット“八王子”		
事業費	385,033円	補助金額	128,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>虐待、不登校、家庭内暴力、いじめ、子育て不安など家庭、地域の教育力の低下と子どもたちが育っていく基盤が揺らいでいる現況において、養育不安を抱えている親たちへのサポート、また、心の援助をする人材を養成し、地域で学びあうことによりコミュニティの活性化を図る。</p>
	<p>内容</p> <p>親の気付きを促し、勇気づけ、楽しい子育てのコツを伝授する講座とリーダー（サポーター）を養成するトレーナー養成講座の開催。</p> <p>(1)「より良い親子関係プレ講座」の開催（1回）</p> <p>(2)「より良い親子関係講座」6回シリーズ開催（1回）</p> <p>(3)APトレーナー養成講座の開催</p>

事業の実績	<p>プレセミナーの開催 平成18年6月21日 なかの幼稚園にて 参加者28名</p> <p>「より良い親子関係講座」6回シリーズ 参加者10名 平成18年9月6、13、20日、10月4、11、18日、2回の補講（11月8、22日）を行い全員の受講者に修了証を授与。</p> <p>APトレーナー養成講座 平成19年2月18日 参加者5名 APリーダーを養成することができるAPトレーナーの資格取得</p>



事業の成果・効果	<p>「より良い親子関係講座」を学んだことをより理解していただくために毎回ホームワークが出されます。その回のテーマに沿い、子どもとの時間を大事に過ごしてもらうのですが、それを実践することで得られる様々な気付き、この気付きにより子育てが変わってきます。</p> <p>この講座は実際子どもと向き合う中で生まれた親自身の気付きを第一歩として進んでいきます。全員の方で良い気付きを得て、回を重ねるごとに子どもに向けた眼差しが少しずつ変わっていくのを見るにつけ、この講座の意義深さを感じます。</p> <p>また、トレーナー養成講座では5名のトレーナーが誕生しました。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年5月～7月 「より良い親子関係」6回シリーズ 地域センターみなみ野で実施 7、9、11月 幼稚園、中学校(PTA)、青少対(地域)等の主催でプレセミナーの実施予定 プレセミナー実施後、6～8回シリーズの講座につなげていきたい。
---------	--

事業名	安心・元気な子どもの居場所づくりプロジェクト		
団体名	八王子子どもの居場所づくりプロジェクト		
事業費	620,848円	補助金額	160,000円

事業の目的・内容	目的 第1は、子どもたちの居場所づくりに係わる各団体、各地域の活動を支援することにある。第2に、「サタデースクール事業」をさらに継続、発展させる支援を行うこと。第3に、大学生のパワーとエネルギーを各地域づくりの試みに、活力とエンパワーメントを与えることを目的としている。
	内容 (1) 子どもの居場所づくりを子ども主体に作り上げる活動の支援及び実践として「たまり場」事業 (2) 子どもの居場所づくりに関わる各団体の交流・連携及び子どもの居場所づくりのための人材の育成として「大学生サークルの交流ネットワーク」事業

事業の実績	(1) 「たまり場」事業 ・「たまり場教室」として以下の教室を各団体と連携して派遣実施。 タグラグビー（8回開催）、スナッグゴルフ（2回）、ドッチビー教室（3回）、 ペットボトルロケット教室（2回）、フットサル教室（6回） ・7月8日 シンポジウム「冒険遊び場づくりを考える」 小山内裏公園 ・9月3日 ミニさくら勉強会 ・11月25日 おやし祭り（長池公園） ・3月11日 こどもまつり（南大沢小学校） (2) 「子どもの安心・安全に関する調査」 以下のように児童・生徒調査、保護者調査、学校調査を実施 ・児童生徒調査 5つの小学校、2つの中学校に協力いただき実施 5小学校 252名、2中学校、184名の協力を得て調査を実施 ・小学生保護者調査 141名を対象に実施した ・八王子市内の小学校を対象にした調査。 (3) 活動事例紹介 多摩テレビ、八王子テレメディアにて私たちの活動がニュースとして紹介
-------	---



「たまり場」：タグラグビー



地域安全マップづくり

事業の成果・効果	<p>18年度の補助金により、 私たちの活動の基盤づくり、 地域の子どもに関わる活動支援、 私たちの団体を認知していただくことができた。</p> <p>・「たまり場」事業として、各地区の小学校のサタデースクールに教室及び講師の派遣事業については、前年度を上回る派遣実績があった。子どもたちの成長にスポーツは欠かすことはできない。スポーツが盛んな時代にあって、スポーツが不得意な子が地域でスポーツを楽しむ機会はむしろ減少している。そのような事情をふまえて、スポーツが不得意な子を含め、子どもから大人まで楽しむことができるニュースポーツの体験教室を開催し、多世代で手軽にどこでもスポーツを楽しむ活動の普及を目指し、実施することができた。</p> <p>・「子どもの安心・安全に関する調査」を実施して、小学生を対象にした調査では、犯罪に巻き込まれかもしれないという不安をもっている児童は、「よくある」と「たまにある」とを合計すると36%、中学生で45.1%となる。その理由としては「マスコミで報道されているから」、「習い事で遅くなることがあるから」、「近所に人通りの少ない道や公園があるから」の順となっている。学校を対象にした調査では、学校安全ボランティアやピーボ君の家との情報交換が余りされていないという課題が明らかになった。学校安全マップについては、通学路だけ、更新がされていない、学区を越えた広域地図が必要という課題も明らかになった。Web上でのデジタル版広域安全マップの試作を試みた。</p> <p>それらに加え、地元CATVの多摩テレビ、八王子テレメディアにて私たちの活動がニュースとして紹介においても活動事例として私たちの活動が掲載された。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>収入面では、事業収益が大幅に少なかったが、今年度については子ども体験塾の補助金により、大いに助かった。支出面では、たまり場教室が予定以上の団体の協力もあり、多数実施することができた。</p>
	その他、評価すべき点等	

今後の事業展開	<p>イベントではなく、継続的に事業が進められるよう地域での仕組み作りを行う。結果として子どもたちを見守る地域における多世代コミュニティづくりのきっかけ作りをめざす。</p> <p>18年度は市民企画事業による3年目の区切りの年であった。その意味で、団体の足腰をしっかりと整え、より会員増大や、支援・協力団体の拡大等課題も多いが、当補助金により、活動の方向性を確認することができた。大変感謝している。</p> <p>20年度は、新たな展開を目指して再度応募したいと考えている。</p>
---------	--

事業名	地域特産品の開発（桑を利用したお土産づくりとして地域食品名産品）		
団体名	特定非営利活動法人 地域生活文化研究所		
事業費	922,516円	補助金額	300,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>当市には土産物になるような特産品が少ない。最近健康、美容指向の食品のブームである。これらを背景にして、かつて当市は、「桑の都」と称された事がある地域の産物であった桑葉に含まれるデノキシノジリマイシンが、糖分の血獲への流入を抑え、生活習慣病の予防や治療の面でも効果があり、かつ、とりすぎ予防の効果もあるので、地域の特産品としての開発を目指している。</p>
	<p>内容</p> <p>市内にある意欲的な食品製造店や障害者による作業場に声を掛けた。共同で桑粉利用の食品を開発する。当面は和菓子、洋菓子、麺、豆腐等の店と重点を置いたが、創価大学の押金前教授が、桑葉の品種改良を実施していて、相当の成果が得られた。当面はこの製品の生産状況を見守り、全市に普及したい。このため参加各店による持続を重視し、当面市民への期待感を与えるような広告パンフの作成と、昭和の日に公開販売する計画を立てている。</p>

事業の実績	<p>平成18年12月市民から苦情の電話を頂いた。「そごうの地下でパンフレットを見たが、パルムドールはどこか分からない」と言うことで大変恐縮した。残念ながら、常時ある店が必ずしも定着していなかったことと、パルムドールが相模原に移転前のチラシだったこともあって、反省させられた。それでも市民の方が桑の効果に期待をかけてくれることが分かり、常時在庫する必要性を痛感した。</p> <p>創価大学の押金前教授による新種栽培の結果を踏まえ、創価サービス等の支援を受けられる可能性が見えてきた。さらに地域で大手だった青木万年堂が「桑都大納言」を開発し、土産品として展開する可能性があり、市の土産品として定着をはかりたい。</p> <p>今後の見通しとしては、各店ごとに意識の向上を図ることが必要と思われるが、当研究所としては、この事業について規模を縮小し、各店の努力を待ちたい。</p>
-------	--



いちょう祭り「ふるさとバザール会場」にて

事業の成果・効果	<p>基本的に事業で収益もしくは必要経費を求めることは、現在のNPO体質では職員の人件費負担が過重になり長期的な運営は至難である。各店の営業努力に差があり、それぞれに品質の確保が要請される。</p> <p>折角PR文書を作り配布しても、各店が常時製品を用意しない限り、足並みがそろわず、市民から不評を招くことが多いのが実情である。多少の非難はあってもチラシ等の方法で周知し各店の奮起を期待せざるを得ない。</p> <p>当面、青木万年堂が参加するので、このお店と加寿美庵を中心に、PR活動を展開し他店の協力を期待する方策を推進したい。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>各店が常時店頭に置いてくれない悩みがある。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>上記事業の成果・効果のとおり。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>各店が常時店頭に置いてくれない悩みがある。</p>
	その他、評価すべき点等	商品が常時あることの努力を進めたい。

今後の事業展開	<p>地域の名物にするためには点数は犠牲にしても常時店頭に置ける体制を整備したい。</p> <p>創価大学の押金前教授の新種栽培の効果も踏まえ、創価サービス等の協力を得ながら、土産品としての定着を考えている。</p>
---------	--